

公募テーマ：

「産業構造審議会 教育イノベーション小委員会  
「中間とりまとめ」の論点の社会実装」に関するテーマ



## 4 町合同による部活動運営と文化・テクノロジーに特化した 新たなサードプレイスの創出事業

最終成果報告書  
株式会社BUKARU

<担当者情報>

所属・役職：BUKARU /代表取締役

氏名(フリガナ)：森田敦(モリタアツシ)

メールアドレス：morita@bukaru.jp

電話番号：080-4506-0987

2024年2月22日

# 実証事業サマリ : BUKARU

## 実証の背景と成果

### 背景

4町(木古内町、知内町、福島町、松前町)では、少子化によって1校では各部活動の人数確保が困難  
また、働き方改革を背景とし、教員負担の軽減が課題  
そのため、将来的には部活動の地域移行を見据えつつ、まずは複数町合同で活動するあり方を決定する



### 成果

少子化を背景として合同部活動の実施は喫緊の課題。  
一方、目下活動に支障がない外部指導者活用・部活動の地域移行については、外部指導者との調整等で一時的に顧問の負担が増加するおそれあり。取組への理解を得るために現場を含めて丁寧な合意形成が先行すべき

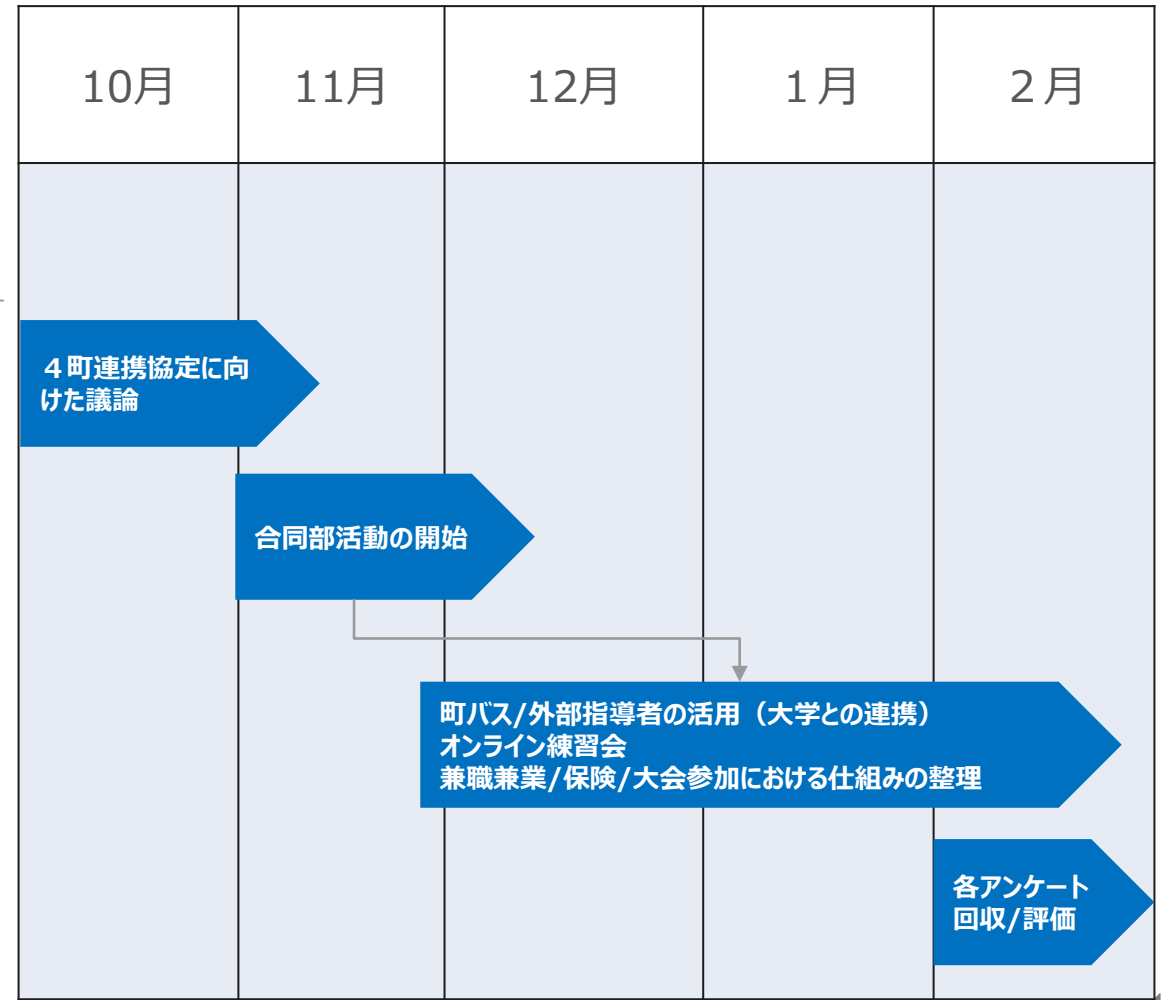
休日は集合して活動したうえで、平日は各校での練習またはオンラインでの合同活動が現実的

- 1時間半程度の移動が必要となる広域においては、学校の授業後の集合は困難
- 合同部活動以外に平日活動するのであれば、各校または各町が活動機会を担保することに

災害共済給付の観点では、集合時の活動にはいずれかの学校の顧問(・学校から委嘱された外部指導者)が同行すれば問題なく、最終的な同行要否は学校長の裁量によって判断

- 移動時も、顧問の引率がなくとも災害共済給付の対象

## 実証内容



# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix

# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

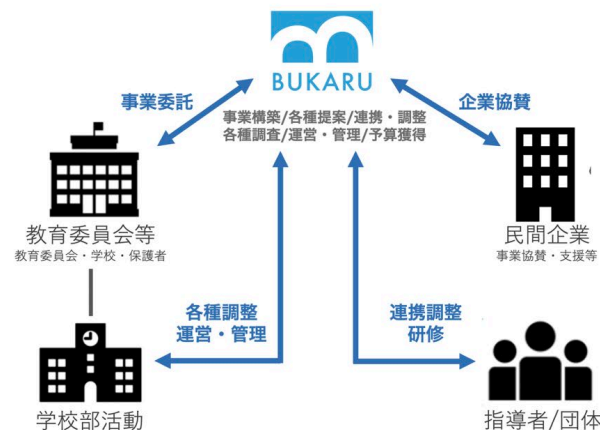
Appendix

# 1. 事業者

会社名 株式会社 BUKARU  
 所在地 北海道札幌市中央区南2条西22丁目1-1テイストビル2F  
 設立 2022年8月8日  
 代表 代表取締役 森田敦  
 資本金 100万円  
 事業内容

- (1) 部活動に関するプラットフォームの運営
- (2) アプリケーションの企画、設計、運営、管理、提供
- (3) 学校部活動支援事業
- (4) 人工知能に関する調査研究及び情報発信
- (5) 人工知能を活用したスポーツ文化指導及びサポート
- (6) バーチャルリアリティに関する調査研究及び情報発信
- (7) バーチャルリアリティを活用したスポーツ文化指導及びサポート
- (8) 有料職業紹介事業及び労働者派遣事業
- (9) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

## 地域移行のための 部活動支援プラットフォーム



### BUKARUにできること 全体事業ディレクション/コーディネート



2022-2023年 札幌市/当別町で導入  
 左)札幌市啓北商業高校 右)当別町とうべつ学園



# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix

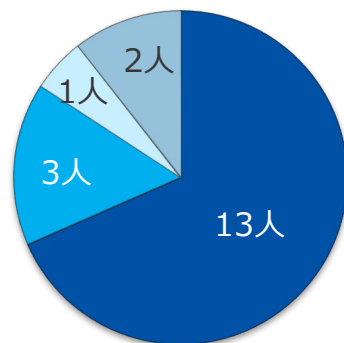
## 2. 背景と目指す姿

### 背景

4町(木古内、知内、福島、松前)において下記の問題が存在

- 少子化により1校ではチームスポーツが成立せず
  - バスケ・野球は合同チームで大会に出場しているものの練習が合同で継続的に行えていない
- 現在の顧問は部活動指導を行いたいと思っている先生が多い一方、異動が生じると代替の指導者を確保する難易度は高

4町顧問の指導の継続意向(人)



■ 指導したい ■ 指導したくない ■ サブとしてなら ■ どちらでもない

### 目指す姿

将来的には学校管理下ではなく地域チームとして部活動を実施することも視野に入れつつ、今年度は4町での合同活動実施を実現し、継続することを目指す

【将来的に目指す活動形態(実証開始時)】

- 対象種目
  - チームスポーツ(野球、バスケ)
- 大会参加
  - 合同チームで参加
- 指導者
  - 継続的に指導に従事いただく前提で外部指導者を活用
  - 補完する形で兼職兼業を取り入れ
- 場所
  - 平日1回、休日1回の週2回は拠点校に集合(野球：知内、バスケ：福島)
  - 集合時以外は各校で練習。オンラインを併用して状況共有・技術向上
- 移動
  - 可能な限り町バスを活用しつつ、保護者の協力も前提に 6

# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix



## 3. 実施体制・実証フィールド

### 実施体制

---

事業受託者：株式会社BUKARU

- 統括責任者：森田 敦 (代表取締役)

再委託先：株式会社Earthist

(一部効果検証、システムサポートを担当)

- 責任者：熊谷 (取締役)
- システム担当：三河 (CTO)

外注：該当外部指導者

- 函館大学バスケ部 5名
- 川瀬 光也 (野球)

### 実証フィールド

---

#### ①木古内中学校

- 所在地：北海道上磯郡木古内町
- 部活動顧問：野球1名
- 対象生徒：野球3名

#### ②知内中学校

- 所在地：北海道上磯郡知内町
- 部活動顧問：野球1名、バスケ1名
- 対象生徒：野球9名、バスケ男子11名、バスケ女子6名

#### ③福島中学校

- 所在地：北海道松前郡福島町
- 部活動顧問：野球1名、バスケ2名
- 対象生徒：野球6名、バスケ男子3名、バスケ女子3名

#### ④松前中学校

- 所在地：北海道松前郡松前町
- 部活動顧問：バスケ1名
- 対象生徒：バスケ女子1名

# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix

## 4. 実証内容概要

	狙い	取組内容
①次年度の部活動のあり方設計	次年度の部活動のあり方を決定する	<ul style="list-style-type: none"> <li>4町と実証期間中の連携協定を締結し、①-1~3を踏まえて次年度の部活動のあり方を4町の教育委員会と議論</li> </ul>
①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施	次年度以降の活動場所/移動のあり方を設計する <ul style="list-style-type: none"> <li>負担以上に集合するメリットがあるか</li> <li>一部の活動をオンラインで代替が可能か</li> <li>集合しない活動日はどのように連携するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケ部・野球部の合同部活動を実施し、課題・改善点を洗い出し</li> <li>4町の町バスを活用した送迎を実施し、移動負担をアンケート調査</li> <li>集合機会を増やすため、オンライン指導を実施し、満足度をアンケート調査</li> </ul>
①-2外部指導者の量・質の確保	次年度の指導者のあり方を決定する <ul style="list-style-type: none"> <li>外部指導者を活用するメリットが感じられるか・必要か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケ部では函館大学のバスケ部の協力のもと大学生を活用・野球部では旭川のプロコーチを活用し、満足度をアンケート調査</li> <li>北海道教育大学函館校における外部指導の単位化について議論</li> </ul>
①-3大会・保険の現行制度の整理	学校管轄の合同チームに対する保険適用の範囲を整理する	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校管轄の合同チームの活動に対する、日本スポーツ振興センター災害共済給付の適用範囲を整理</li> <li>学校管轄の合同チームとして、中体連の試合に出場できる条件を整理</li> </ul>
②将来的な部活動のあり方議論	地域チームとして活動するための課題を洗い出す <ul style="list-style-type: none"> <li>兼職・兼業を活用できるか</li> <li>地域チームとして大会出場・保険適用できるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>兼職・兼業を活用する際の手続きを明確化・活用にあたって想定される課題を整理</li> <li>学校管理下でない地域チームの活動に対する、日本スポーツ振興センター災害共済給付の適用範囲を整理</li> <li>学校管轄外の地域チームとして、中体連の試合に出場できる条件を整理</li> </ul>

## 4. 実証内容詳細①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施

### 野球

日時	形態	参加者	外部コーチの有無	バス活用状況
12月3日(土) 8:00-11:00	集合	木古内3名、知内7名、福島4名	無	福島バス
12月10日(土) 8:00-11:00	集合	インフルエンザのため活動中止		-
12月15日(金) 16:00-17:00	オンライン	インフルエンザのため活動中止		-
12月17日(金) 8:00-11:00	集合	インフルエンザのため活動中止		-
12月22日(水)16:00-17:00	オンライン	顧問対応できなくなり中止		-
1月11日(木) 10:30-11:20	オンライン	知内野球部5名	有	-
1月13日(土) 9:00-12:00	集合	木古内3名福島4名 知内7名 (少年団も参加)		-
1月20日(土)9:00-12:00	集合	木古内3名福島3名 知内6名	無	知内バス
1月26日(金) 15:30-16:30	オンライン	知内 4名	有	-
1月27日(土) 9:00-12:00	集合	福島 4名知内7名 木古内2名	無	-
2月3日(土) 9:00-12:00	集合	福島4名知内7名 木古内3名	有	福島バス
2月8日(木) 15:45-16:45	オンライン	木古内2名	有	-
2月10日(土) 9:00-12:00	集合	福島4名 木古内3名	無	-

### バスケット

日時	形態	参加者	外部コーチの有無	バス活用状況
11月26日(土) 8:30-11:30	集合	福島のみ6名 他インフルエンザ	大学生2名	-
11月30日(木) 16:00-17:00	オンライン	生徒の体調不良により中止	-	-
12月8日(金) 16:00-17:00	オンライン	コーチの体調不調により中止	-	-
12月9日(土) 8:30-11:30	集合	松前1名福島6名 知内10名	大学生3名	-
12月12日(火) 16:00-17:00	オンライン	顧問が急遽会議により中止	-	-
12月16日(土) 8:30-11:30	大会	松前1名福島6名 知内10名	-	松前バス
12月21日(木) 16:00-17:00	オンライン	松前1名	大学生1名	-
12月25日-26日大会	大会	福島知内松前	-	松前バス
1月7日(日) 8:30-11:30	集合	松前1名福島6名 知内9名	無	-
1月8日(月) 8:30-11:30	集合	松前1名福島6名 知内9名	大学生2名	-
1月13.14日 jrカップ大会	大会	福島総合体育館	-	-
1月20日(土) 8:30-11:30	集合	松前1名福島6名 知内10名	大学生2名	知内バス
1月27.28日 jrカップ大会	大会	福島総合体育館	-	-
2月2日(金) 15:45-17:15	オンライン	福島5名松前1名	無(福島と松前で繋ぎ顧問が指導)	-
2月3日(土) 9:00-12:00	集合	松前1名福島6名	大学生2名	-
2月10日(土)	集合	福島6名 他コロナ	大学生2名	-

## 4. 実証内容詳細①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施

### 町営バスの運行

#### <町バス運行ルート>



福島町をバスケ、知内町を野球の拠点校として週末土曜日に合同部活動を実施  
バスを発出する町の顧問が同乗し引率

#### 移動時間/距離

- ・木古内⇄知内12分(9.5km)
- ・木古内⇄福島40分(35km)
- ・木古内⇄松前70分(57km)

#### <コスト>

各町が年間で町営バスを契約・保有

- ・回数によって費用が増えるわけではない(ただし、他の地域クラブ等も活用するため、利用日にはあらかじめ予約する必要あり)
- ・運転手は自治体職員に依頼

### オンライン指導

#### <メニュー>

##### ①バスケ (大学生が指導)

- ・函館大学生が生徒の悩みや課題を聞き、その内容にあったスキルトレーニングを提供。シュートやドリブル、プレー中の動作におけるポイントを中心に実施

##### ②バスケ (福島顧問が指導)

- ・福島町の練習メニューをベースに松前の生徒が合流する形で実施

##### ③野球 (外部プロ指導者)

- ・あらかじめ事前に生徒の課題を伺い、バッティング動作を中心にスキルトレーニングを提供
- ・オンラインをつなげる場所が体育館のように広くない教室や廊下であったため、その場所のできるメニューを実施

#### <デバイス>

生徒に支給されているiPadに加え、大型モニターに投影して練習

- ・相互性のあるピンマイク、イヤホンがあると音声聞き取りやすいため、環境の整備も今後必要か？

## 4. 実証内容詳細①-2外部指導者の量・質の確保

### 外部指導者の起用

野球・バスケ部の活動において、外部指導者を選定し、満足度をアンケートで調査

野球：旭川の野球プロコーチを起用

- 旭川で小学/中学(一部高校生)でプロ指導している川瀬光也氏が担当
- 主に平日放課後、60分-90分をオンラインで技術指導を実施し、週末の集合活動にも参加
- オンラインでどこまで生徒のスキルアップに繋げることができるか、個人目標とその課題を埋めるためのサポートを行う

函館大学のバスケ部を外部指導者として起用

- 函館大学のバスケ部（5名）に協力いただき大学生を活用
- 大学生はバスケ部歴5年以上の経験者で全道大会出場、地域選抜に選出されているプレーヤーレベル
- 週末の合同部活動では顧問の指導をサポートし、平日はオンライン（松前バスケ部）で顧問の代わりに技術指導を実施

### 大学との連携

木古内教育長経由で9月中旬に函館大学・函館教育大学の該当部活動顧問との打ち合わせを実施

本実証の内容をご説明したうえで、大学生の外部指導者としての活用についてご相談

函館大学バスケ部顧問 高橋先生

- 「大学生が地域に貢献できる新たな取り組みに参加できることが嬉しい。積極的に参加させていただきたい」と非常にポジティブなご意見を頂戴
- 各町との正式な連携を視野に、本実証では試験的な活用を実施

函館教育大学吹奏楽部顧問・地域協働推進センター 齋藤教授

- 課外活動を単位として認めることができれば、従来大学生を外部指導者に任用する際の「責任感をもって期間内の活動を継続してもらえるか」という課題が解決できるか について、将来的な活用を視野に議論

## 4. 実証内容詳細①-3大会・保険の現行制度の整理

### 大会

---

#### 学校管轄の合同チームの大会参加条件を整理

- 情報源
  - 北海道中体連HP
  - 担当者への問い合わせ
- 調査内容
  - 北海道中体連における、バスケットボール・野球の大会出場条件
  - 上記を踏まえた4町としての対応方針

### 保険

---

#### 学校管轄の合同チームに対する保険の適用範囲を整理

- 情報源
  - 日本スポーツ振興センターHP
  - 担当者への問い合わせ
- 調査内容
  - 日本スポーツ振興センター災害共済給付の適用範囲
  - 上記を踏まえた4町としての対応方針



## 4. 実証内容詳細②将来的な部活動のあり方議論

### 実証開始時の顧問の要望・課題感

- 指導の継続
  - 野球部・バスケット部の顧問としては、指導を継続したい
- 教員負担軽減
  - 集合での活動回数を増やすと、顧問、生徒、保護者送迎の移動負担が大きい
  - 現在は顧問が熱心に指導しているが、異動を伴うため、地域人材に指導を移行することが必要になる可能性あり
- 大会出場
  - 4町で横のつながりを強化し、合同チームで大会に参加したい
  - 今後の生徒数推移によっては、4町のみでは合同チームとして大会出場に足る人数の確保も難しくなる可能性あり
- チーム力強化
  - 大会出場は重視しており、合同での活動回数は維持したい
  - 週末拠点校での部活動のためチーム内の連携を図りたい
  - 平日に1回でも合同練習できるのが理想
  - 強くなりたいため、毎日でも練習をしたい

### 本実証における議論ポイント

将来的な地域移行を視野に、関係者の要望・課題感を踏まえ、4町としての今後の動きについて教育委員会と議論

- 兼職・兼業を活用する際の手続きと、活用にあたって想定される課題
- 学校管理下でない地域チームの活動に対する、日本スポーツ振興センター災害共済給付の適用範囲(顧問の同行はどこまで必要か?)
- 学校管理下でない地域チームとして、中体連の試合に出場できる条件
- その他、将来的な地域移行を目指すのであれば検討が必要と考えられる事項



# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix

## 5. 実証結果概要

	結果
①次年度の部活動のあり方設計	<ul style="list-style-type: none"><li>• 少子化を背景とし、合同部活動の実施は喫緊の課題であり、継続も可能な見立て</li><li>• 一方、目下活動に支障がない外部指導者活用・部活動の地域移行については、現場まで含めた丁寧な合意形成が先行すべき</li></ul>
①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>• 集合活動で部員数が増えることに対する生徒/顧問の期待は高いものの、移動負担は非常に高く認識されており、平日の集合/より広域での集合は難易度が高いか<ul style="list-style-type: none"><li>- 保護者からの送迎負担の声が多く、費用の自己負担が生じてでも毎回バスを確保してほしいという要望も</li></ul></li><li>• また、顧問負担軽減には、連絡の清流化、各校の引率ルールの整理が一案</li><li>• オンライン活用は、ハード面の整備に加え、各校の生徒同士が交流できるメニューの提示が必要</li></ul>
①-2外部指導者の量・質の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>• 外部指導者を活用するにあたって、教育委員会としては選抜/研修の質向上以上にトラブル時の対応方針の明確化を重視<ul style="list-style-type: none"><li>- 資格の有無による選抜/研修の充実をしても、指導力以外の観点は、トラブルが生じてからしかその有効性を判断できないため</li></ul></li><li>• 外部指導者の量確保にあたっては、大学部活動や授業との連携による継続性担保が一案</li></ul>
①-3大会・保険の現行制度の整理	<ul style="list-style-type: none"><li>• 合同チームでの大会出場は、監督・引率者の属性、1校あたりの部員数、対象の地域範囲、申請手続き・期限の属性に留意すれば可能</li><li>• 共済給付は、学校管理下の活動として学校長が認めた範囲においては、移動中や同行教員の有無は問わず適用可能</li></ul>
②将来的な部活動のあり方議論	<ul style="list-style-type: none"><li>• 学校管理下でない活動には大会出場の現行ルールが適用されないため、そもそも部活動に期待する役割の4町合意が必要</li></ul>

## 5. 実証結果詳細①次年度の部活動のあり方設計

木古内町	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ 合同部活動については、これまで机上での議論にとどまっていたところから、課題の洗い出しができた点で成功といえる。今後も継続していく</li> <li>“ 外部指導者は、定期的に協力いただく分には生徒にとって良い刺激になる。一方、この地域の人材でないと外部指導者を安定供給できない点が問題</li> </ul>
知内町	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ 現時点で活動に支障をきたしている状況ではないため、地域移行についてはできることから数年かけて考えていく</li> <li>“ 試合に出て勝つことをモチベーションにしつつも、教育の一環として部活動を実施している。現場の先生方との指導内容のずれを埋めるためには、現場の顧問が活動の全体像を理解できるよう、十分な時間をとる必要がある</li> <li>“ 4町として、現時点ですぐに部活動を地域移行することは考えていない。一方、今いる顧問の先生方が異動した場合に、部活動をやりたくない先生の代わりができるよう、町内の人材発掘は進めたい</li> </ul>
福島町	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ 拠点校方式で合同部活動を継続していく想定</li> <li>“ 福島町では、教員の働き方改革に関心があり、合同化と並行して単町としても部活動のあり方を検討する協議会を持っている</li> </ul>
松前町	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ 合同部活動は来年度春から本格実施し、3月は試験的に集合して活動する想定</li> <li>“ 実証においては学校への説明が遅くなっていたため、丁寧に進める必要あり</li> </ul>



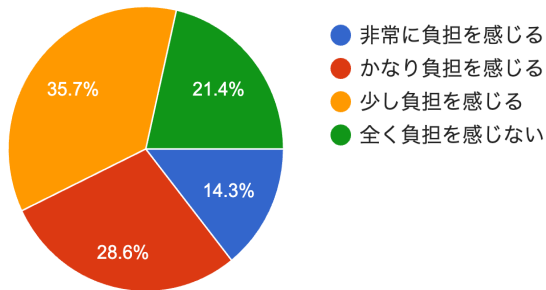
来年度も土日の合同部活動を継続実施・平日の活動は各校のもとで実施  
現時点では外部指導者/オンライン活動の取り入れは想定せず、必要に応じて検討

# 5. 実証結果詳細①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施

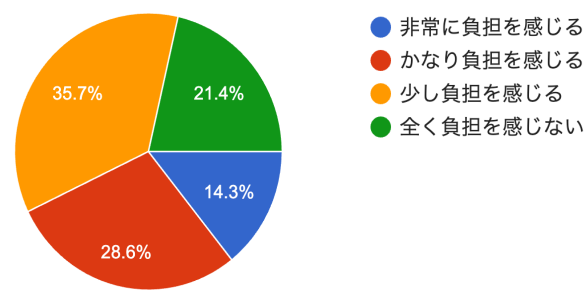
## 町営バスによる移動に対するアンケート結果(一部抜粋)

### 生徒向け事後アンケート：移動の負担はどれくらいですか？

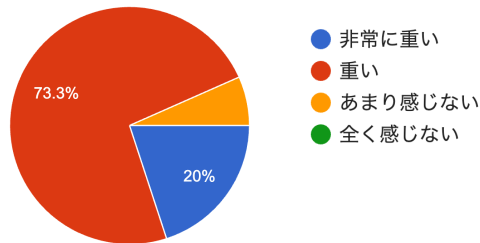
野球部・11/18名回答



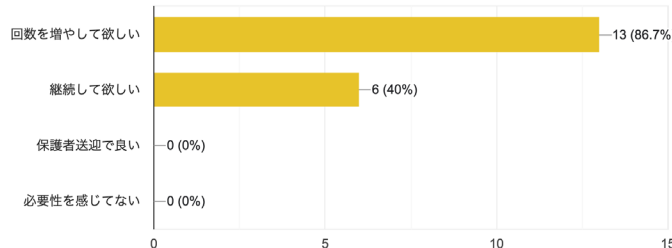
バスケット部・7/7名回答



### 保護者向け事後アンケート：お子様の部活動への送迎に関する負担をどの程度感じていますか？保護者15名回答



### 町バスの活用はいかがでしたか？複数回答（該当校のみ）



### <保護者コメント> (一部抜粋)

- 少ない部員の中、また土日働いている親が多い中協力しあって送迎している
- 特に、夏冬休みの平日練習での送迎は、仕事の都合上送迎が難しいため町バスがあると親としても安心して子供を部活動参加させる事が出来る
- 多少の自己負担があっても送迎バスがこれからも継続してくれることを願う

## 実証を踏まえた見立て

集合活動への生徒の満足度は高い(事後アンケートにて、とても満足：64%、満足：36%)一方で、移動負担は非常に高く認識されており、平日の集合/より広域での集合は難易度が高い見立て

- 保護者からの送迎負担の声が多く、費用の自己負担が生じても毎回バスを確保してほしいという要望も

また、顧問負担軽減には、連絡の清流化、各校の引率ルールの整理が必要

- 活動日・バスの確保状況については、コーディネート企業がハブとなって情報の流れを単線化する必要あり
- 出発地の中学校の顧問のみがバスに同乗するのが一案だが、拠点校で活動すると同じ顧問に負担が集中ため、分担は継続検討
  - 「顧問全員がバスに乗らず、発出する町の顧問が乗って引率できたことは、毎度集合しなくて良いので移動の負担が減り、大変助かった」
  - 「運転中の事故で最悪の事態（運転手、引率顧問が瀕死の状態）になったときの、生徒の対応シミュレーションが必要」

## 5. 実証結果詳細①-1移動/オンライン活用を前提とした集合活動の実施

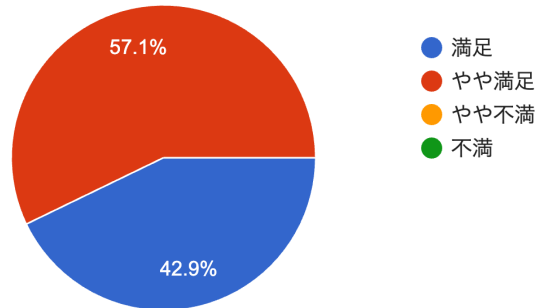
### オンライン活用に対するアンケート結果(一部抜粋)

#### 2月2日松前福島バスケ部 合同オンライン練習

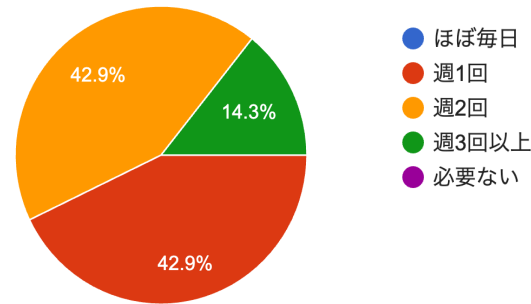
- 松前町と福島町のバスケ部がオンライン上で集まり、シュートとドリブルのスキル練習を実施
  - 両町の顧問は各校の活動に同席
- 顧問からは「複数町がオンライン上で合同練習することは可能」との感想あり

#### 生徒向け活動後アンケート：バスケ部 回答7名/7名

オンラインで部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？



オンラインでの練習はどれくらい必要ですか？



### 実証を踏まえた見立て

オンライン活動は、対面で集合した活動と比較して満足度が低い傾向あり

- ハード面の整備に加え、各校の生徒同士が交流できるメニューの提示が必要
- 顧問との練習メニューのすり合わせが必要

一方、オンライン活用は週1-2回以上の頻度で必要とされており、対面での集合回数を増やせないなかでオンラインが代替の機能を果たすことが望ましい

加えて、オンラインでの活動に毎回顧問が同席と負担が変わらないため、各町の顧問が持ち回りで担当するか、外部指導者に安全管理を任せられるよう、ガイドラインを4町で整備がすることが必要

## 5. 実証結果詳細①-2外部指導者の量・質の確保

### 選抜～研修～フィードバックのフロー

#### ①外部指導者の要件として右記10点を整理のうえ、外部指導希望者に面接を実施

- 事前に函館大学バスケット部顧問と打ち合わせを行い、指導者を指す者、この事業に興味関心の高い学生を推薦いただいたうえで、該当者と面談を実施  
(5名を外部指導者として登録)

#### ②研修会の実施

選考された外部指導者に、ガイドライン(次頁)の内容を網羅した指導者研修会を実施。研修会は3時間のオンライン対面形式。研修後には後日確認テストを実施し理解度を高めた。

#### ③フィードバック会

合同部活動実施後、指導における反省点、課題の整理、次回以降に活かすことをまとめたものを報告。  
現場の顧問から指導者に対してフィードバックをもらう。

### (参考)外部指導者の要件整理

- 1.専門知識：**  
指導するスポーツや活動に関する深い知識と経験があるか
- 2.コミュニケーション能力：**  
部員や他のスタッフ、保護者と円滑にコミュニケーションを取れる能力があるか
- 3.リーダーシップ：**  
部員に対して明確な指示を出し、全体をまとめ上げる能力があるか
- 4.安全意識安全管理：**  
運動中の怪我や事故を防ぐためのリスクマネジメントができるか
- 5.教育的観点：**  
スポーツや活動のスキルだけでなく、人間として成長するための指導も行えるか
- 6.計画性：**  
短期・長期の目標を設定し、それに対する計画を立てられるか
- 7.柔軟性：**  
予期せぬ状況にも対応できる柔軟な思考と行動力があるか
- 8.公平性：**  
部員一人一人に対して公平に指導し、偏見を持たないか
- 9.継続的学習：**  
新しい情報やメソッドについて学び続け、それを指導に生かすことができるか
- 10.自己管理能力：**  
自分自身の健康と精神状態もしっかり管理し、持続可能な指導が行えるか

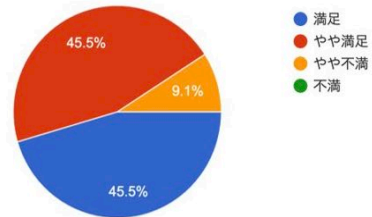


## 5. 実証結果詳細①-2外部指導者の量・質の確保

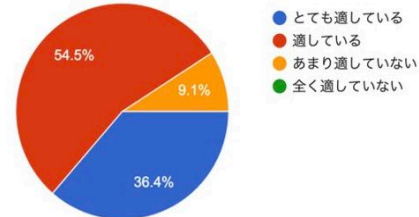
### 大学生指導者への生徒・顧問の反応アンケート(一部抜粋)

#### 生徒向け最終アンケート:バスケ部回答7名/7名

外部指導者の指導についてどの程度満足していますか？

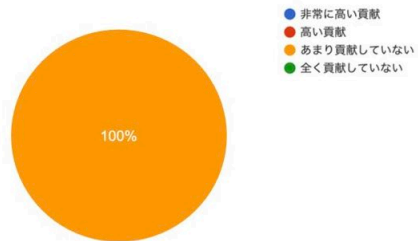


外部指導者の指導スタイルは部活動にどの程度、適していると思いますか？

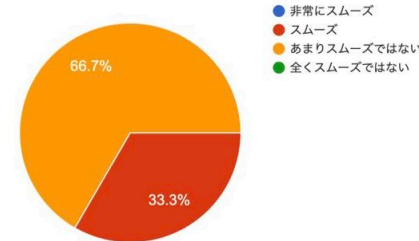


#### 顧問向け最終アンケート:バスケ部回答3名/3名

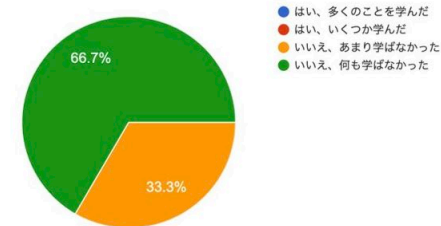
外部指導者（大学生）の貢献をどのように評価しますか？



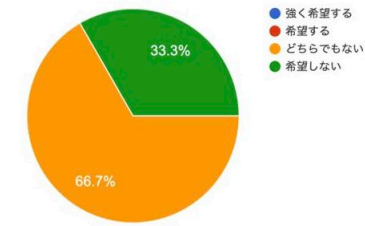
外部指導者（大学生）とのコミュニケーションはスムーズですか？



外部指導者（大学生）による指導で新しいスキルや知識を得られましたか？



今後も外部指導者（大学生）による指導を希望しますか？



### 実証を踏まえた見立て

大学生の指導者への満足度は、特に顧問の先生方から低く回答

その理由として、チームの方針に合ったメニューについて、顧問の先生方とのすり合わせができていなかった点が最も大きい要因と想定

- 顧問の方針と外部指導者の練習メニューが異なるため、生徒が混乱する可能性あり
- 顧問の先生からは、「ただやるのではなくどうなりたかを考えて練習スキルをあげてほしい」という声も

上記を踏まえると、顧問と外部指導者の方針のすり合わせ(+コーディネート企業の適切な介入)を丁寧に実施する必要あり

加えて、実証のような短期間では、大学生がメインで指導する難易度は高く、技術指導の補完の役割にとどまるか

- 大学との連携協定を結び、長期的に指導に従事できる仕組みができれば、より役割を拡大する可能性はあり

# (参考)研修に向けたガイドラインの内容

## 目次

### ①外部の指導者としての関わり方

- 1 外部指導者制度の概要
- 2 業務内容の全体像
- 3 学校、各部との連携

### ②基本的な指導の考え方

- 部活動の意義及び位置付け
- 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- 生徒指導に係る対応
- 女子生徒や障害のある生徒などへの配慮

スポーツ庁/文科省/札幌市のガイドラインをもとに作成し、4町の教育委員会と不足がない旨を合意

### ①外部指導者としての関わり方：内容

#### 1

#### 外部指導者制度の概要

- 身分、職務、勤務形態、報酬・費用弁償、災害補償等(後頁)

#### 2

#### 業務内容の全体像

- 活動内容の策定について
  - 活動日前に、ゴールと大枠の実施内容は顧問からBUKARUアプリ上で共有いただいたうえで、具体的な練習メニュー策定は支援する
- 活動日当日の動きについて
  - 技術指導・生徒対応を含め、練習は外部指導者が主導して実施する
- 顧問や部活動を担当する教諭等との情報共有について
  - 顧問・次回活動日の担当指導者への情報共有はBUKARUアプリを活用して引継ぎを実施する
  - BUKARUアプリの使い方研修は別途実施する
- 保護者等への対応について
  - 今年度は原則外部指導者は保護者へ直接対応せず、顧問を通してコミュニケーションする
- 事故が発生した場合の現場対応について
  - 顧問の不在時には、現場対応と並行して速やかに顧問・学校・BUKARUに報告する
  - AEDやCPR研修は別途実施する

#### 3

#### 学校、各部との連携

- 活動の目標や方針、課題を踏まえ、基本的には顧問の指示のもとで指導を実施する
- 連携において問題が生じた場合、必ずBUKARUを通して学校・顧問と相談する
- 学校、各部における用具・施設の点検・管理については、各学校の規定に沿って対応する



## 5. 実証結果詳細①-2外部指導者の量・質の確保

### 函館校の課外活動の単位認定要件

---

#### 活動が満たすべき要件：

- 部活動を母体とした「学生有志」がボランティア活動として地域の学校等を支援すること
- 期間中に合計90時間以上の活動を設けること
  - 2単位に相当

#### 期間中の4町/受け皿団体の対応：

- 実習の事前事後指導、実習中の学生指導、活動中の日誌へのレスポンス、実習報告会への出席等が担当者に求められる

#### 単位認定導入までのプロセス：

- 単位認定したい年度の前年度の夏～秋には、活動内容/時間等を整理して教員に提案/内諾を得たうえで、会議に通す
  - 函館校(吹奏楽部の連携)では、齋藤先生が窓口

### 現時点の懸念事項

---

#### 90時間以上の活動の確保

- 期間中の練習予定を事前に決めきる必要があり、中学校側の予定変更への柔軟な対応が難しい
  - 4町においては、各校の総務部が各月で活動場所を割り当てており、現在の運用では見通し困難
  - また、本実証中でも、生徒の体調不良や顧問の先生方の都合による活動見送りが複数回発生

#### 大学生側のニーズ

- 単位認定をすると基本的に報酬の支払いは難しいが、大学生としては単位よりも活動費の方が欲しいとの声も

## 5. 実証結果詳細①-3大会の現行制度の整理

### 前提

基本的には、中体連、市民大会ともに、学校管理下の活動であることが要件

ただし、大会運営主体が認めた地域移行スポーツ団体であれば、大会出場を認められる可能性あり  
(令和5年度は下記の条件：

一部抜粋)

- 地域移行モデル地区や、自治体主体で地域移行を進めるために発足したスポーツ団体
- 地域移行の受け皿となっている地域スポーツ団体

### 合同チームによる北海道中体連大会出場条件

監督・引率者	(札幌市のように例外的に承認されている外部指導者を除き、)各学校の引率及び監督は、校長・教員・部活動指導員に限定
チーム人数	大会出場最低人数を上回ったチーム同士の合同化ではない必要あり <ul style="list-style-type: none"> <li>• ただし、実施の事業主体が教育委員会/中学校長会である拠点校部活動については、それぞれの学校に大会出場最低人数以上の選手がいても問題なし</li> </ul>
地域範囲	地区大会の最小区分内の学校との合同化が原則。地区中体連の範囲を超えなければ、専門委員会や地区中体連が認めれば可能
申請手続き	学校間で校長が合意→地区中体連会長に申請し、地区中体連で協議
申請期間	夏季競技5月下旬まで、冬季競技10月下旬まで。有効期間は当該年度末まで
外部指導者	日常の指導が定期的に行えると校長が認めた成人が務めること 必須でスポーツ傷害保険に加入すること 部活動運営の責任者は別途学校長・教員・部活動指導員が担うこと ※試合におけるベンチ入りには種目ごとに規定あり

### 4町におけるハードル

外部指導者のみの引率は難しく、顧問の同行が必要

拠点校部活動として進める方針であり、問題なし

- バスケット
  - 男子：福島3名・知内11名
  - 女子：福島3名、松前1名、知内6名
- 野球
  - 木古内3名、知内9名、福島5名

現時点では問題なし

今後より広域の合同化を図る場合は注意

—

—

外部指導者の役割は顧問の補完にとどまる方針であり、スポーツ傷害保険に加入していれば問題なし

## 5. 実証結果詳細①-3保険の現行制度の整理

前提		給付の条件	左記を踏まえた対応方針
<p>「学校の管理下」の活動であれば日本スポーツ振興センター災害共済給付の対象とされる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「学校の管理下」とは、「学校の設置者等が委嘱した指導者」による活動を指す</li><li>上記の指している「外部指導者」には特段の条件はなし</li></ul>	<p>学校部活動としての実施</p>	<p>外部指導者活用/拠点校での集合の有無にかかわらず、給付の対象に</p> <ul style="list-style-type: none"><li>拠点校に各校の教員が同行せず、いずれかの学校の教員/外部指導員が代表して同行しても○</li><li>移動中については、教員/外部指導員の同行有無は問わず○</li></ul>	<p>学校長が承認した計画表に下記内容を明示</p> <ul style="list-style-type: none"><li>いずれかの学校の教員/外部指導者が指導し監督責任を負うこと(担当者も明記)</li><li>活動にあたって移動が生じること・該当生徒の一覧</li><li>(場合によって)移動に教員/外部指導員が同行しないこと</li></ul>
	<p>地域クラブとしての実施</p>	<p>学校管理下の活動と認められないため給付の対象外に</p>	<p>教育委員会/学校が、スポーツ安全保険への加入を生徒/教員に必須で課すかを判断</p>

## 5. 実証結果詳細②将来的な部活動のあり方議論

木古内町	<ul style="list-style-type: none"><li>“ 地域クラブ化して、やりたい先生は前向きに報酬をもって活動いただきつつ、不足する範囲を外部指導者で補完することになるか</li><li>“ いずれにせよ、4町の距離感において学校としての部活動を完全になくすと、平日の活動の受け皿がなくなってしまう</li></ul>
知内町	<ul style="list-style-type: none"><li>“ 知内町では、働き方改革の流れで部活動の時間が削減されつつあり、土日のどちらかは休みとなっている。一方、今の顧問は強くなることに重きを置いている。地域クラブ化して、要望に応じた活動時間の延長が可能になるとよい</li></ul>
福島町	<ul style="list-style-type: none"><li>“ 福島町の野球部は中体連の全国大会にも出場経験があるチームであり、大会は重視。平日は先生が活動を担当しつつ、土日は拠点方式または地域クラブ化していくことに対し意欲がある</li><li>“ いずれ4町で集まっても中学生の数が大会出場に満たない可能性もある。地域クラブや少年団、高校部活動との連携も一案か</li><li>“ 各町に部活動がない種目については、拠点校方式にて部員数を確保し、生徒の活動環境を広げていく</li></ul>
松前町	<ul style="list-style-type: none"><li>“ 教員の働き方改革の面で必要なのだとすれば、中学校の部活動について国がどのような考えを持っているかが重要</li><li>“ 4町でも部活動に求める役割に差がある。今後も協議会という形で4町の目指す絵姿をすり合わせる想定</li><li>“ 将来は4町だけではなく渡島エリア広域も視野に入れたい</li></ul>



広域で活動する場合には、移動時間に鑑みて休日のみ集合が現実的。  
もし自治体として平日も生徒に活動機会を提供したいのであれば学校やその他各町の範囲内で活動場所を設置する必要あり  
4町としては、現状の連携体制を維持しながら、今後の情勢に見合った地域移行のあり方を検討していく

# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix

## 6. 今後の自走・普及プラン

本実証を踏まえ、複数町またがる広域の部活動のあり方としては、下記を一案として整理 ※BUKARU案であり、4町として目指す姿については別途議論

### 対象種目

団体で活動する運動部、文化部

### 大会参加

合同チームで参加

### 指導者

顧問の要望に応じて外部指導者を活用

### 場所

週末に1回は拠点校に集合して活動

- 拠点校の活動は顧問が持ち回りで担当し、担当でない顧問は休めるように

集合活動に加え、週に1-2回はオンラインを活用して集合して実施

- 基本的には顧問なしで、オンラインを介して外部指導者(または外部指導者を雇う受け皿団体)が安全管理責任を担えるよう、学校長の判断を獲得
- 上記の学校長の許可を獲得できない場合、顧問が同席できない活動日は外部指導者が安全管理目的で活動に同席
- なお、オンラインでは各校同じ練習メニューを活用し、合同チームとしてのスキルアップを図る

上記以外に、必要に応じて各校で練習の場所を確保

- 平日の学校部活動を廃止しても、各町の範囲内で受け皿を充実させる難易度は高いため、基本的には各学校が場所を提供(学校管理下の活動とするかは問わず、自主練の場所を貸し出す、という建付けも一案として検討余地あり)

### 対象種目

練習日を数か月～年単位で仮決めし、町バスを確保

- 4町として、1部活動に貸し出せる回数に制限を設ける必要がある場合、該当する回は受益者負担で民営バスを借りることも考えられる

民営バスを借りるにあたって、バス利用者数の都合上1人当たりの金額が保護者の許容額を上回ることが想定される場合は保護者の協力も

大会の引率は出発地の学校の顧問が担当

- ただし、会場が函館市内の場合には、函館在住の顧問が多いため引率なし/外部指導者の同乗を検討

## 6. 今後の自走・普及プラン

### ①ミニマム合同部活動を続けるためにかかるコスト(バス・オンライン)

- ・町営バスの活用時、追加費用はないがガソリン代増、ドライバーの確保、スケジュール調整のコスト発生
- ・平日1回オンライン（外部指導者）：1600-1800円/時間 or 謝礼3,000円/日

### ②外部指導者も活用するためにかかるコスト

- ・一般的外部指導料 1600-1800円/時間 or 謝礼5000円/日
- ・週2回（平日1.5時間/週末3時間）：1部活 30,000円-40,000円/月

### ③BUKARUがコーディネートするのにかかる月額コスト

- ・アプリの提供1アカウント 500円/人×生徒/顧問人数
- ・コーディネート料 40万円/月(4町連携の場合)

### <次年度の部活動実施における自走の見立>

週末は現顧問が拠点式で指導、各校でオンラインを繋いで同メニューで展開する予定

外部指導者の活用については、顧問の先生の意向を重視して進めるため、活用は未定

アプリの活用については、実証終了後の令和6年3-5月の期間は無償提供

# 最終報告書目次

1. 事業者
2. 背景と目指す姿
3. 実施体制・実証フィールド
4. 実証内容
5. 実証結果
6. 今後の自走・普及プラン

Appendix



# (参考) 連携協定に向けた調整

## 連携協定までの調整

本実証の申請までに7月上旬に4町教育長と主に本実証の内容の打ち合わせを実施。

4町が抱える課題と今後の地域移行に向けて、本実証の狙いも踏まえ、合同での部活動を本格的に進めていくため、協定を結び4町団結して行っていくことを8月末に合意。

各町の教育委員会担当者を決めていただき横のつながりを図るため

連携協定に向けてのMTGを2週に1回実施。

各町の教育長、担当の教委から町長への資料説明と実証内容のすり合わせにそれぞれ時間を要した。

また4町との連携協定のドラフトをベースに各町からフィードバックいただきながら、協定式に向けスケジュール調整。

4町の町長が同じタイミングに集まるのがスケジュール的に非常に難しいため4町教育長が集まれる日程調整し、10月24日4町とBUKARUの連携協定式を行うことができた。

## (参考) 連携協定のひな型

### 4町合同部活動に関する連携協定書

本古内町（以下「甲」という。）と知内町（以下「乙」という。）と福島町（以下「丙」という。）と松前町（以下「丁」という。）と株式会社BUKARU（以下「戊」という。）は、甲、乙、丙、丁の4町が合同で行う部活動（以下「4町合同部活動」という。）に関する実証事業（以下「実証事業」という。）の実施に関し、次のとおり連携協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（趣旨）

第1条 甲、乙、丙、丁、戊は、地域移行における4町合同部活動の推進を図るため本協定の定めに従い、実証事業を実施する。

（連携協力事項）

第2条 実証事業において、甲、乙、丙、丁、戊が連携し協力する範囲は、次の各号に掲げる事項（以下「連携協力事項」という。）の範囲とする。

- 1 戊は4町合同部活動の取組に係る必要な調整等を行い、サービスやノウハウを提供する。
- 2 4町合同部活動の実証事業期間は令和5年11月1日～令和6年2月22日までとする。
- 3 教員が携わる部活動顧問活動は現状どおり公務として扱い、一部大学生の外部指導員を対面、リモートで活用する。
- 4 合同部活動のうち教員は甲、乙、丙、丁の町有バスを活用して送迎を行う。
- 5 来年度以降の実施に向けて、継続的に議論する。
- 6 前各号に掲げるもののほか、4町合同部活動を推進、目的を達成するために必要と認められる事項について連携し協力する。

2 甲、乙、丙、丁、戊は、連携協力事項の範囲内の事務について甲、乙、丙、丁、戊のいずれかから協力を求められた場合であっても、法令による制限その他の事情によって協力することができないと認められるときは、その求めを拒むことができる。

3 連携協力事項を効果的に実施するため、甲、乙、丙、丁、戊は、定期的に協議を行い、連携協力事項の効果検証を行うものとする。

（秘密情報）

第3条 戊は、連携協力事項の実施のため、戊の技術上、営業上その他一切の情報（以下「秘密情報」という。）を甲、乙、丙、丁に提供する場合は、当該情報が秘密情報である旨を明示して、甲、乙、丙、丁に提供するものとする。

2 甲、乙、丙、丁も同様に、連携協力事項の実施のため秘密情報を戊に提供する場合は当該情報が秘密情報である旨を明示して、戊に提供するものとする。

（秘密保持義務）

第4条 甲、乙、丙、丁、戊は、秘密情報を善良なる管理者の注意をもって秘密を保持することとし、事前の書面による承諾を得ることなく、第三者に開示又は提供しないものとする。

（目的外使用の禁止）

第5条 甲、乙、丙、丁、戊は、秘密情報を連携協力事項の遂行以外の目的に使用しないものとする。

（複写・複製）

第6条 甲、乙、丙、丁、戊は、事前の書面による承諾を得ることなく、連携協力事項の遂行のために必要最小限の範囲を超えて、秘密情報の複写、複製等を行ってはならない。

（秘密情報の管理）

第7条 甲、乙、丙、丁、戊は、秘密情報を取り扱うにあたり、秘密情報に対する不正アクセスまたは秘密情報の紛失、破壊、改ざん、漏洩等のリスクに対し、必要かつ適切な安全対策を講ずるものとする。

（事故）

第8条 甲、乙、丙、丁、戊は、秘密情報の漏洩を覚知したとき、又は漏洩のおそれが生じたときは、直ちに応急措置を講じるとともに、速やかにその旨を甲、乙、丙、丁、戊に報告してその取扱いを協議しなければならない。

（保険）

第9条 4町合同部活動中に事故や怪我への対応については甲、乙、丙、丁で別に定めるフローに沿って速やかに甲、乙、丙、丁へ報告を行い、学校内の保険にて対応する。

（期間）

第10条 甲、乙、丙、丁、戊は、いずれかがこの協定の規定に違反し、相当の期間を定めて是正を催告したにもかかわらず、これを是正しないときは、書面による通知をもって、この協定の全部又は一部を解除することができるものとする。

（有効期限）

第11条 本協定の有効期限は、協定の締結日から令和6年2月22日までとするが実証事業終了後も甲、乙、丙、丁が必要と認める場合は、甲、乙、丙、丁、戊で協議のうえ、本協定に代わる協定を更新することができる。ただし更新する場合は改めて協定を結ぶものとする。

2 前項の規定にかかわらず、第4条から第8条までの規定は、本協定終了後も有効に存続するものとする。

（費用）

第12条 甲、乙、丙、丁の学校施設は無料で提供し、実証事業にかかる費用は戊が負担する。

（適用）

第13条 本協定に定めのない事項については、甲、乙、丙、丁、戊が協議の上、別に定めるものとする。

2 甲、乙、丙、丁、戊のいずれかが本協定の内容の変更を申し出たときは、変更につき協議する。

本協定の締結の証として本書5通を作成し、甲、乙、丙、丁、戊、各自押印の上、各自その1通を保管するものとする。

実証事業内容の概要

安全面の担保

費用負担

# (参考) 保護者への説明

令和 年 月

〇〇中学校〇〇部  
部員・保護者 各位

〇〇町〇〇中学校

## 4町合同部活動の実施について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、人口減少に伴う部員数の減少、教職員の働き方改革を背景とし、従来の部活動の維持が難しいことから、学校の実情に応じて部活動の地域移行に取り組むことが求められております。

今年度は経済産業省の「未来の教室」実証事業として、木古内町、知内町、福島町、松前町の4町が連携し、合同部活動を実施する運びとなりました。本校においても、生徒・教職員のための持続可能な部活動モデルを確立していくため、令和5年11月1日から令和6年2月22日までの期間中、貴部活動を対象として下記のとおり実証事業を進めてまいります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 記

#### ■対象となる部活動

野球部、バスケットボール部、陸上部

#### ■実施期間

令和5年11月～令和6年2月

#### ■実施頻度/実施日/実施場所

集合型の合同部活動を月1回以上(休日)(4町のいずれかの学校施設を利用)  
オンライン活用による合同部活動を週1回以上(平日)(各学校の施設を利用)  
※上記以外の日程は、現状の部活動の継続を想定

#### ■活動内容

4町の中学校の生徒が集合/オンラインを活用し、合同練習を実施  
函館大学・教育大学函館校の大学生が外部指導者となり、技術指導を含むサポートを実施  
※練習内容は現顧問の方針を踏まえて策定。また、合同部活動以外では現状の部活動の継続を想定

#### ■移動手段

集合して練習を実施する日は、町バスを利用し、学校から開催校へ参加生徒を送迎  
※学校から生徒の自宅までの移動は各ご家庭にてご対応ください。その他保護者の皆様に送迎のご協力をいただく際には、事前にご連絡させていただきます。

#### ■連絡手段:

合同部活動(集合型、オンライン)に参加する生徒の出欠確認/活動状況の記録、保護者への各種連絡等は、各校の既存の連絡手段・活用ツール又は BUKARU のアプリを利用

#### ■動画撮影

本実証事業をホームページ等で紹介するにあたって、部活中の様子や指導内容を動画で撮影させていただきたく、ご了承願います。  
公開を希望されない場合は、事業の運営主体である BUKARU までご連絡ください。

#### ■事業運営主体

株式会社 BUKARU(代表取締役社長 森田敦)  
4町合同部活動に関するお問い合わせ窓口: [info@bukaru.jp](mailto:info@bukaru.jp)  
連絡先: 080-4506-0987

#### ■補足

- 顧問と相談のうえ、具体的な実施内容は一部変更が生じる場合がございます。
- 外部指導者の募集・選定、事前研修は BUKARU が対応し、技術面だけでなく、生徒とのコミュニケーションや安全面について担保いたします。
- 万が一活動中に怪我や事故が発生した場合、BUKARU が学校に速やかに報告し、連携いたします。
- 実証期間の災害補償は、従来通り(公財)スポーツ振興センター災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金の支給)の保険を適用いたしますので、追加の対応は必要ございません。
- 大会につきましては、今年度は従来通りに参加いたします。
- 保護者の皆様の見学は基本的に可能です。各町の感染症対策の状況によってはご遠慮いただく場合がございますのでご了承ください。
- 実証期間中は、各ご家庭での費用負担は追加で発生いたしません。
- 来年度以降の実施につきましては、今年度の活動に対するご意見を頂戴しながら検討させていただきます。

写真、動画についてはできるだけ顔を写さないよう配慮が必要。  
取材時も同様。

万が一の事故に対して保険が適用される点、安心  
安全な体制で行う点、費用負担はないことを明記

外部指導者が入るため活動内容に明記

町バスを活用しつつも、保護者の送迎協力を引き続き依頼

## (参考)本実証における外部指導者の位置づけ

※なお、この位置づけは実証のみの対応であり、大会出場規則等に合わせて修正が必要

		本実証の外部指導者	部活動指導員	札幌市特別外部指導者	札幌市外部指導者
業務内容	技術的な指導	○	○	○	○
	顧問教諭不在時の部活動指導	○	○	○	
	顧問教諭と同様の職務	△	○		
大会引率	すべての大会の引率		○	△(市内のみ)	
身分	町の会計年度任用職員		○		
	ボランティア	○(有償)		○(有償)	○
謝礼	教育委員会規定による報酬/謝金		○	○	
	BUKARUとの契約に基づく報酬	○			
保険・災害補償	公務災害補償適用		○		
	教育委員会による傷害保険の対応	○		○	○
任免権	教育委員会		○		
	学校長の申請後、教育委員会が登録			○	
	学校長	○			○
配置校の決定	教育委員会		○	○	
	校長	○			○
任用要件	①教員免許②指導者資格③部活動の指導経験		○		
	①教員経験②2年以上の外部指導者経験③指導者資格			○	
	①連携大学各部・団体への所属 ②3年以上の競技歴	○			
研修会	市教委による指導者研修会参加		○	○	
	BUKARUによる研修会参加	○			

# (参考)本実証における外部指導者の指導マニュアル

## はじめに

BUKARU マネジメント/コーチング研修では、BUKARU 社ならびに日本代表やプロスポーツ選手、チームのサポートを行ってきた FORH BODY PERFORMANCE のコーチとしての指導ノウハウを蓄積していただきます。

研修者の皆様には、以下のことを学んでいただきます。

- ・ 指導するための準備
- ・ 生徒への話し方、コーチング、コミュニケーション方法（リーチサイクルコミュニケーション）
- ・ プログラムメニューの組み立て方
- ・ 指導の進め方
- ・ 指導現場での安全管理、救急対応
- ・ イレギュラー時の対応
- ・ ステークホルダーへの連絡体制
- ・ 保険について

BUKARU マネジメント/コーチング研修を通して最終的にテスト合格者が外部指導者として認定され各市町村の教育委員会、学校長へご紹介いたします。

2023年10月1日  
株式会社 BUKARU

## 1 インストラクション評価シート

インストラクションの種類	評価項目
ウォームアップ	ウォームアップの目的が明確であること ウォームアップのメニューが適切であること ウォームアップのメニューが安全であること
メインメニュー	メインメニューの目的が明確であること メインメニューのメニューが適切であること メインメニューのメニューが安全であること
フィードバック	フィードバックの目的が明確であること フィードバックのメニューが適切であること フィードバックのメニューが安全であること
クールダウン	クールダウンの目的が明確であること クールダウンのメニューが適切であること クールダウンのメニューが安全であること

### <指導現場での安全管理、救急対応>

- ・ 天候や不審者情報など見ていないかの確認(適切な実施判断)
- ・ 安全が最優先であること
- ・ 指導が安全に実施できるための情報を収集する
- ・ 指導時間中だけでなく、行き帰りの時間を含めた情報の確認
- ・ 熱中症リスクを下げる対策(日影での活動、風通し、水分補給、休憩時間の確保)
- ・ 寒さのリスクを下げる対策(服装、上着、話し時間を短くする、動く時間を増やす等)
- ・ 屋外施設グラウンド等での練習の場合、下記の項目を確認する
 

1. 地面	練習の妨げになる危険物が無いかを確認
2. 柵や壁	柵や壁に破損が無いを確認
3. 固定具の組みや間食	設置のボルト等に組みや間食が無いを確認
4. 移動用大型運動器具	ゴール等の移動器具に倒れる危険が無いを確認
5. その他	指導者に危険に感じてるものがないかを確認
- ・ 屋内施設体育館等での練習の場合、下記の項目を確認する
 

1. 床面や壁面	練習の妨げになる危険物が無いかを確認
2. 施設の指導設備	ワイヤーやボルト等に組みや間食が無いを確認
3. 窓やガラス	衝突したら割れるようなガラスや照明が無いを確認
4. 移動用大型運動器具	ゴール等の移動器具に倒れる危険が無いを確認

・安全が最優先、真実を察知したら、練習を止めることを等閑しない

## BUKARU のスポーツ、文化指導について

### <目的>

スポーツ、文化の教育を通じて、心身ともに健やかな成長を促し、生徒たちの可能性を広げ、スポーツ文化がいつまでも続く未来を創る

### <研修プログラムの概要>

BUKARU のサポートのもと、指導者の作成や設定された指導現場での研修を行うことにより、指導において学びの指導者をつくり出すことをねらいとしています。  
BUKARU コーチからの指導実習アドバイス、指導実習時にはチェックリストを活用した信頼的な評価やフィードバックを受けることができます。アドバイスやフィードバックにより、客観的に自身の指導を振り返ることができるので、トレーニングプログラムの作成力や指導力、対応力の上の向上が見込めます。  
その結果、指導現場でも臨機応変に対応できる指導が可能になり、高い指導力、教育力、マネジメント力で生徒たちのスポーツ、文化指導に携わることができるようになります。

### <指導するための準備>

- ・ 服装
- ・ オンライン研修では自由だが、顔カメラ、マイク等はその場に相応しい身だしなみであること
- ・ 講師用物・用具
- ・ PC またはタブレット
- ・ 筆記用具
- ・ 研修時間
- ・ オンライン研修 2 時間
- ・ テストフィードバック 1 時間

### <身だしなみ・容姿>

- ・ 指導者として相応しい清潔感のある身だしなみ、容姿であること
- ・ 主観的な価値観ではなく、まわりの人から見て、清潔で好印象を与えられる服装や身なり
- ・ 生徒たちへの、身だしなみの見本、手本となる
- ・ 学校、施設や地域に対するイメージ向上や信頼の先生、保護者の信頼関係構築につながる
- ・ 清潔な顔色や、適度なアクセサリー等の控える
- ・ 責任者、指導者としてチームの象徴である意識をもつ

### <生徒への話し方、コーチング、コミュニケーション方法>

- ・ リーチサイクルコミュニケーション参照①

## Reachサイクルコミュニケーション

目標やアートの目的を達成するための会話の構造



Copyright © 2014 FORH Co., Ltd.

- ・ 笑顔で迎え入れる (笑顔・明るい表情)
- ・ 生徒が指導者の笑顔を見たと安心し自分の存在を喜んでくれていてと感じることが出来る
- ・ 生徒の目を見・挨拶を行い、挨拶の thereafter コミュニケーションが取れるようにする
- ・ 生徒たちは積極的な挨拶の仕方を見せる
- ・ 顧問や教員、保護者にも明るい挨拶、元気に挨拶を行う
- ・ 生徒の呼び方は「さん」、一方的な名前をつけない
- ・ いつとも雰囲気違っていたり、元気がない場合は、体調不良やメンタルケアが必要かを確認する
- ・ 次の期が待てるようコーチングを行う
- ・ 個別に個別のアドバイスやフィードバックを受けることで現場で出来る(なるべく具体的に)
- ・ 失敗を助し失敗し続ける 失敗してもチャレンジしたことを褒める
- ・ 指導として適切な言葉遣いができるか(丁寧な敬語)
- ・ 若い言葉や若造語を誤用しない(敬語を尋ねる口にならない)
- ・ 学校、施設や地域に対するイメージ向上や信頼の先生、保護者の信頼関係構築につながる
- ・ 同性・異性に問わず、ハラスメントを想定する言葉はないか、必要以上のスキンシップになっていないか
- ・ 悪言、暴力、ハラスメントは絶対に行わないこと

### <プログラムメニューの組み立て方>

- ・ テーマを設定し、効率的かつ効果的なメニューのプランニングを行う
- ・ 試合期、調整期など年間スケジュールに合わせた計画 (オリガイズーション) を作成
- ・ 1 週間に 1 回の指導回数で、成長できるプランを作成

- ・ 教急車の手配を決断した時点で練習は中止とし、他の生徒に帰宅を促しつつ、顧問、学校の指示に従う
- ・ 練習の中止によって保護者の同意を得た生徒が発生した場合、帰りの支度を安全に待機するように指導する
- ・ 顧問の保護者が現場にいない場合、顧問または学校の先生、または他の保護者にも協力をお願いし、対応可能な方に車の依頼をする
- ・ 現場にいる指導者が 1 名でも、他の生徒が練習会場に残っている場合は、指導者は教急車に乗車しない
- ・ 現場にいる指導者が 1 名でも、他の生徒が練習会場に残っていない場合は、指導者は教急車への乗車を可能とする
- ・ 現場にいる指導者が 2 名の場合には、指導者 1 名が教急車への乗車を可能とする

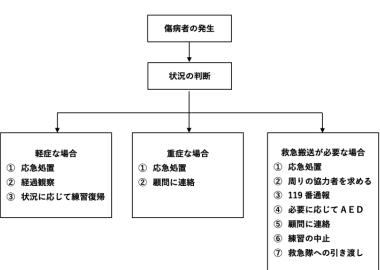
### <イレギュラー時の対応>

- ・ 怪我や体調不良、トラブルが起きた場合は、顧問への連絡を速やかに行う (保護者への連絡は顧問が実施)
- ・ 天候の状況によって、悪化した場合の対応を事前に想定しておく
- ・ 中止基準となることを学校と確認しておく(以下は参考事例)
- ・ 原則的に中止となる場合
 

1. 練習会場の地域に気象庁から「大雨警報」が発せられた場合
2. 練習会場の地域で危険性の高い事件が発生し、その事件が未解決の場合
3. 暑さ指数(WBGT)での計測が 3 以上で、暑害対応が必要な場合
4. その他、安全が完全に実現できないと学校、担当指導者が判断した場合
- ・ 状況に応じて中止となる場合
 

1. 練習会場の地域に気象庁から「雷」が発せられた場合(雷は 7 種類)
2. 練習日に練習会場の地域で地震以上の地震が発生した場合
3. 3 日先の予報(断層/地震)や天気になった場合
4. 暑さ指数(WBGT)での計測が 2 以上で、暑害対応が強い場合
- ・ 練習の開始時刻前に中止基準以上の場合、雨天等の理由で練習を中止する場合、原則として練習の開始予定時刻の 60 分までに判断し通知する
- ・ 急な天候の変化によって雨天になった場合など、練習が安全に実施できない判断したときは、練習の開始予定時刻の前であっても練習を中止し通知する
- ・ 急に警報及び注意報が発令された場合など、生徒を早く帰宅させた方が安全であると判断した場合には、生徒に帰宅を促しつつ、保護者に対して顧問から学校ルールに従いメール等で通知する
- ・ 帰りが遅くなったとき、生徒が保護者の迎えを待っている場合、安全な場所を呼び戻し遅れが確認できるとは現地に待機する

### <傷病者が発生したときの対応フロー>



- ・ 傷病者が出た時は速やかに顧問へ連絡をとる
- ・ 重症な場合、応急処置用の備品等を活用し、指導者が対応できる範囲で応急処置を迅速に実施し二次災害を防ぐため、安全で安静が保てる場所に搬送し、他の生徒と傷病者の両方が管理できる位置であることを確認する
- ・ 救急送付が必要だと指導者が判断した場合、保護者、学校の承諾がなくても教急車を手配する
- ・ 119 番通報する際、併せて必要な情報を伝えられるよう、練習会場の住所や施設名称などを把握しておく

- ・ 生徒の成長に合わせたトレーニングプランにすること
- ・ 練習効果を最大限高めるための量と質のバランスを考慮すること
- ・ 今日の内容を明確にして、メニューの目的を伝えること
- ・ 不平等が起きないために、練習終了後の適切な個別指導を行わないよう意識する
- ・ メニューの目的、具体的な内容、種目、時間、回数、量を明示するかな?

## Training Progression

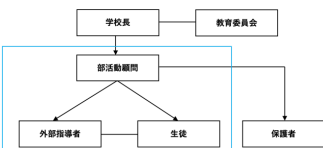


Copyright © 2014 FORH Co., Ltd.

### <指導の進め方>

- ・ 高次だけの説明ではなく、やってみせて、させてみる指導 (数値がわかりやすく説明)
- ・ 全て指導者が説明や実演をしてくれるのではなく、考えさせること、仲間を大切にすること、前向きに迎え自分たちで行動させること大切さを伝え、成長機会にしておく
- ・ 生徒たちの顔色や表情を見て、何か起きたかを察知できるようにする
- ・ 指導者が見ていないところでテクニックやプログラムが定着している可能性もある (一方的に決めつけず)、該当の生徒や他の生徒からしっかりと話を聞き対応する)
- ・ フィードバック (BUKARU アプリを活用)、練習を振り返り、生徒たちの良かったところや今後の課題について全体に共有するかな?
- ・ インストラクション (指導) に関するチェック項目は以下を参考にすること

### <ステークホルダーへの連絡体制>



- ・ 要件は BUKARU アプリ内を活用して連絡できるが生徒への個別連絡はできない
- ・ 保護者への連絡は部活動顧問が実施
- ・ 緊急時も同時に部活動顧問から保護者へ連絡を行う

### <保険について>

#### ■学校の管理下の場合

- ・ 「学校の管理下」の活動では日本スポーツ振興センター災害共済給付の対象とされる
- ・ 「学校の管理下」とは、「学校の設置者等が委嘱した指導者」による活動指し「外部指導者」には特例の条件なし
- ・ 学校活動としての実施においては外部指導者活用/施設校での集合の有無にかかわらず、給付の対象となる
- ・ 拠点校に各校が顧問が行なう、いずれかの学校の顧問/外部指導者が代表して同行しても認められる
- ・ 移動中についての事故後は、顧問/外部指導者の同行有無問わず保護者の対象となる

#### ■地域クラブの場合

- ・ 学校管理下の活動と認められないため給付の対象外となり別途保険に入る必要がある
- ・ 教育委員会/学校が、スポーツ安全保険への加入を生徒/保護者に必須で促すかを判断していただく

# (参考)スポーツ庁 部活動指導員等への研修内容案

## 1. 学校設置者による研修

- ✓ 部活動指導員制度の概要(身分、職務、勤務形態、報酬・費用弁償、災害補償等)
- ✓ 学校教育及び学習指導要領
- ✓ 部活動の意義及び位置付け
- ✓ 服務(校長の監督を受けること、生徒の人格を傷つける言動や体罰が禁止されていること、保護者等の信頼を損なうような行為の禁止等)
- ✓ 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- ✓ 顧問や部活動を担当する教諭等との情報共有
- ✓ 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ✓ 学校外での活動(大会・練習試合等)の引率
- ✓ 生徒指導に係る対応
- ✓ 事故が発生した場合の現場対応
- ✓ 女子生徒や障害のある生徒などへの配慮
- ✓ 保護者等への対応
- ✓ 部活動の管理運営(会計管理等)

## 2. 学校による研修

- ✓ 学校、各部の活動の目標や方針(各部の練習時間や休養日の徹底も含む)
- ✓ 学校、各部が抱える課題
- ✓ 学校、各部における用具・施設の点検・管理



## (参考)兼職・兼業制度活用において検討が必要な事項

### 業務形態

- 雇用の場合労働時間の管理が困難・ボランティアの場合責任所在の明確化が必要のため、業務委託が妥当か(パターンは次頁)
  - ただし、契約の形式・名称にかかわらず、実態(指揮命令権者が企業等であるなど)に応じて雇用契約とされる場合あり

### 手続きフロー

- 顧問から学校長へ申請→教育委員会に申請→教育委員会が認可
  - 兼職兼業に関する最終ジャッジは該当の教育委員会であり、北海道教育委員会に申請や報告等は不要
- 学校長への依頼書、教育委員会への申請書の雛形は他クラブの事例をもとに作成済

### 勤務時間管理

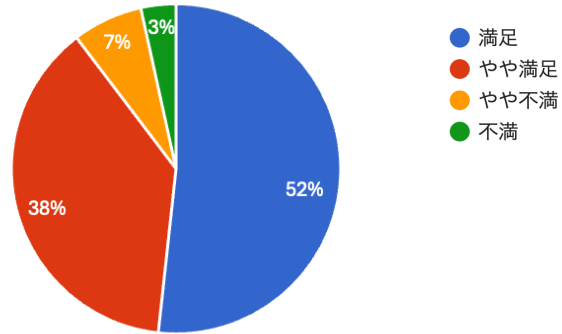
- 教育委員会は、地域団体における業務内容や当該教師の労働時間等を把握
  - 学校と地域団体における通算労働時間－法定労働時間が、単月100時間未満、複数月平均80時間以内とならないことが見込まれる場合、兼職兼業の許可を出さない
- 受け皿となる団体は、勤務時間管理・源泉徴収等の税に関する計算業務を担務することに
  - 勤務状況・実際の稼働時間を月中に教育委員会に経過報告し、中間時で月間50時間を超えている場合は活動時間の短縮等の対応が必要(配慮について教育委員会から学校長へ通達することも一案)

## (参考)兼職・兼業の勤務形態

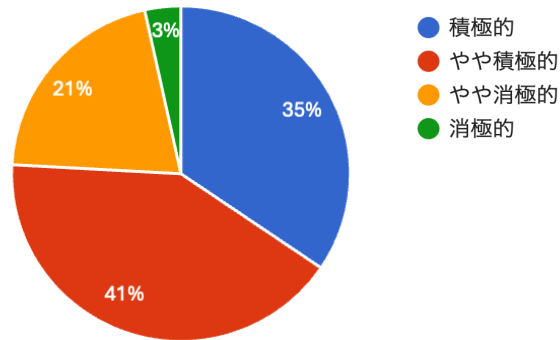
運営主体	自治体	民間の地域団体 (民間企業、総合型地域スポーツクラブ、クラブチーム等)			その他
勤務形態	委託(委嘱) ※1)	雇用	業務委託・請負 ※1)	有償ボランティア ※3)	無償 ボランティア
指揮命令権者	(教師等本人)	運営主体(企業等)	(教師等本人)	(教師等本人)	(教師等本人)
賠償責任	教師等本人	運営主体(企業等)	教師等本人	教師等本人	教師等本人
兼職兼業許可手続き	必要	必要	必要	必要	不要
給与等の性質	謝金(委託報酬※2)	賃金	売上	謝礼	—
労基法の適用関係					
最低賃金	適用なし	適用	適用なし	適用なし	適用なし
36協定	無	必要	無	無	無

# 事前アンケート結果(11月1日バスケットボール生徒 29名/36名)

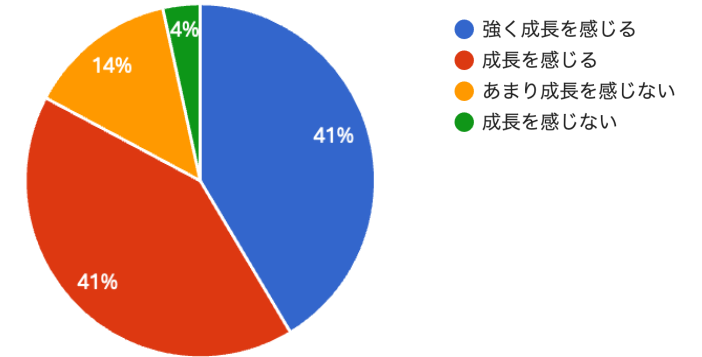
現在の部活動に対する全体の満足度はどれくらいですか？



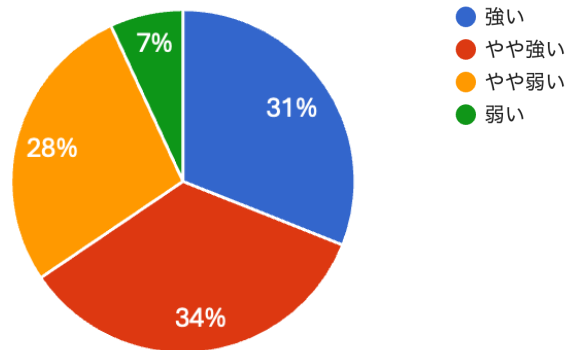
現在の部活動において、どれくらい意欲的に取り組んでいますか？



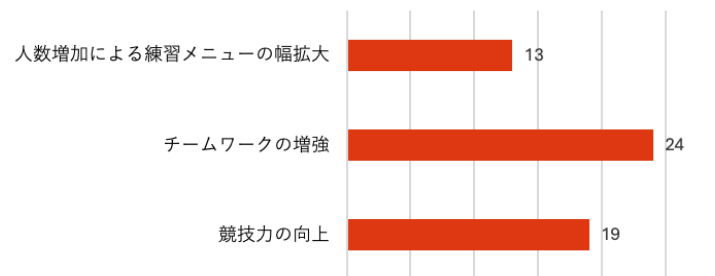
現在の部活動におけるスキルの成長をどれくらい感じていますか？



現在の部活動でのチームワークや連帯感はどれくらいですか？



合同部活動にどのようなことを期待していますか？(複数)



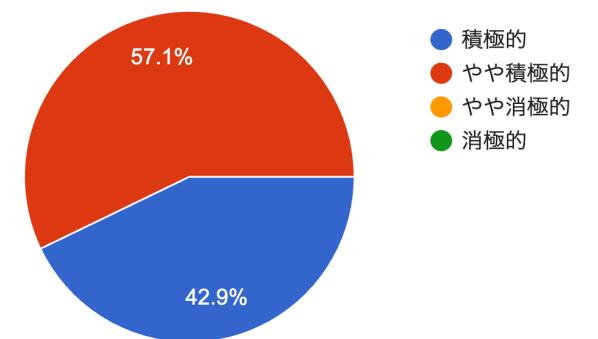
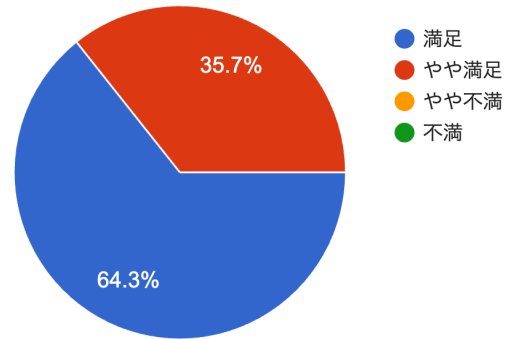
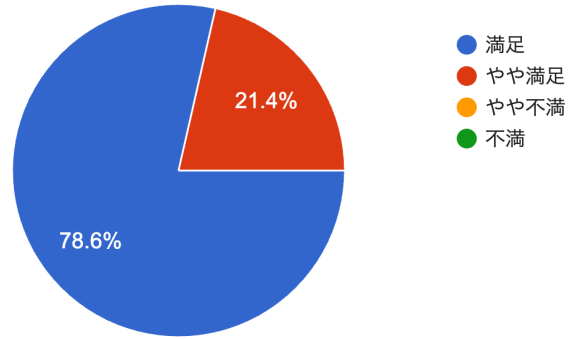
合同部活動を実施することに対して、どのように考えていますか？

- ・チームワークを高めたい
- ・もっと強くなりたい
- ・技術が上手になりたい
- ・他の町の部員とコミュニケーションを取りたい
- ・練習量を増やしたい
- ・もっと練習をしたい

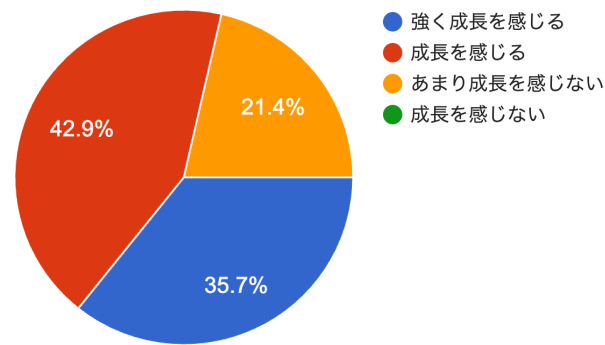
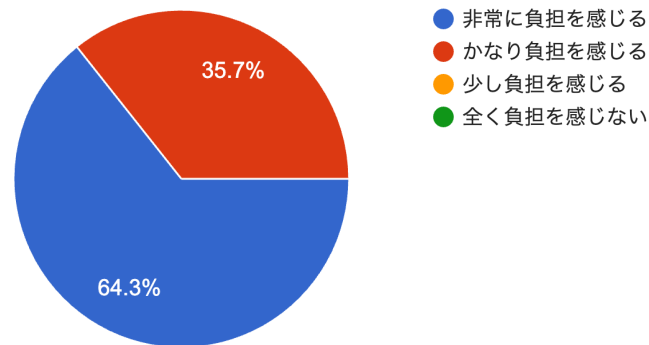


# アンケート結果(12月3日野球生徒 13名/14名)

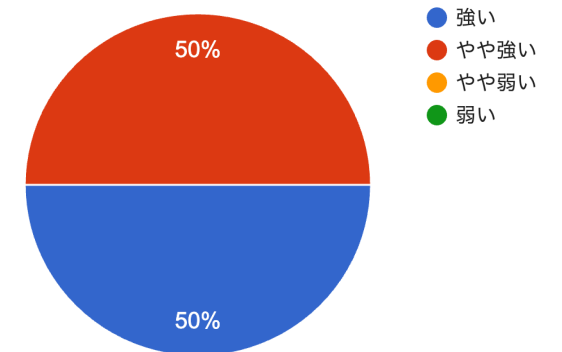
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？ 合同での部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動において、どれくらい意欲的に取り組んでいますか？



部活動の練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動におけるスキルの成長をどれくらい感じていますか？

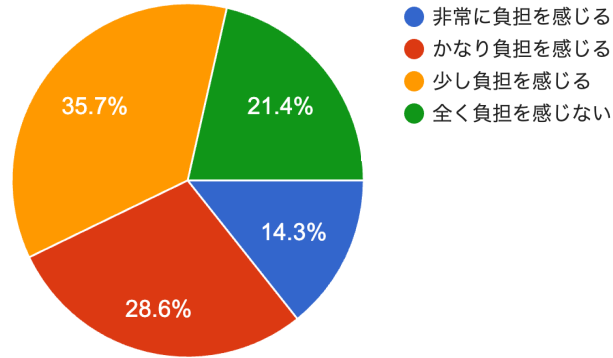


現在の部活動でのチームワークや連帯感はどれくらいですか？



# アンケート結果(12月3日野球生徒 13名/14名)

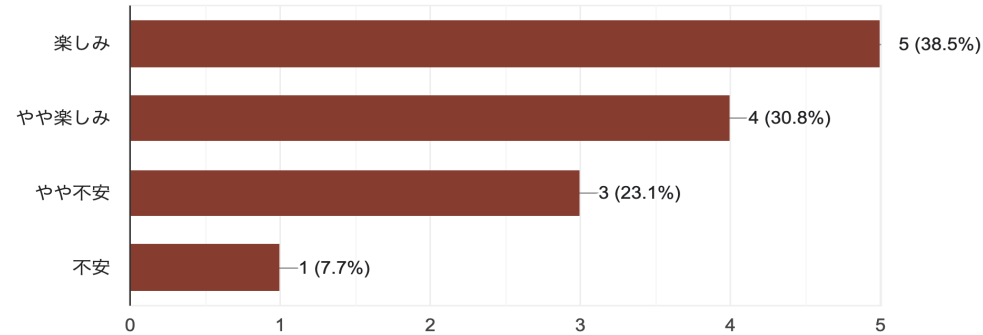
## 移動の負担はどれくらいですか？



## 今後の合同での部活動実施やこれから始まる外部指導者の指導について心配なことはありますか？(自由記述)

- ・コミュニケーションとれるかわかりません
- ・積極的にコミュニケーションが取れるか
- ・人間関係
- ・自分と会う人が来るか心配

## 今後外部指導者が指導することに対してどのように考えていますか？

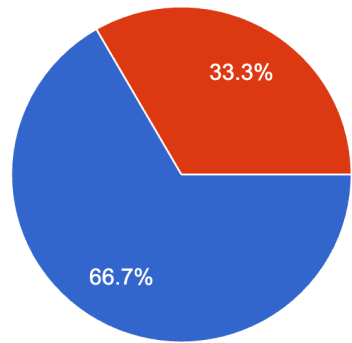


## 合同での部活動実施に関する改善点を教えてください。(自由記述)

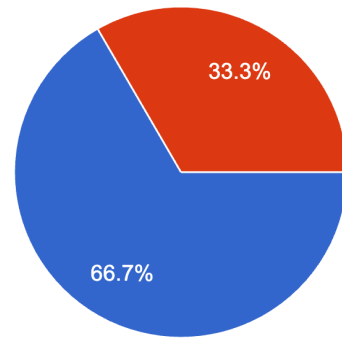
- ・開始時間を遅くしてほしい。
- ・毎朝早起きして会場に向かわなければならないので、集合時間を少し遅くしてほしい。
- ・人数がもっと増えたらいい。
- ・送迎の負担が大きい
- ・もう少し部員が増えてほしい。
- ・移動に時間が取られる

# アンケート結果(12月9日バスケット部 15名/17名)

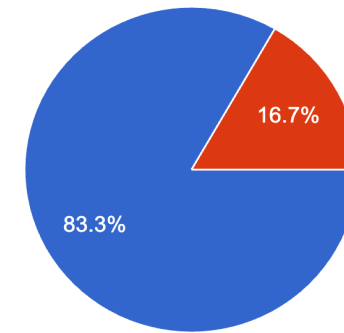
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？ 合同での部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動において、どれくらい意欲的に取り組んでいますか？



- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

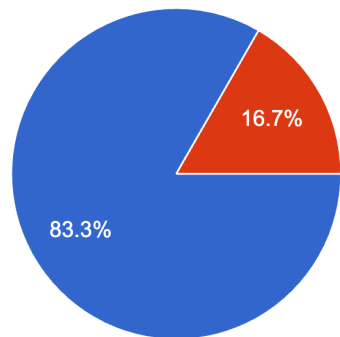


- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

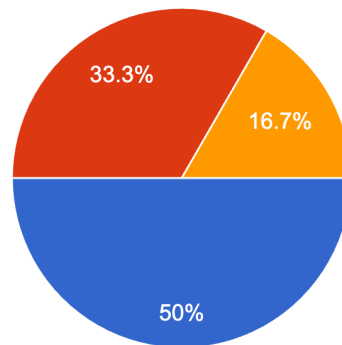


- 積極的
- やや積極的
- やや消極的
- 消極的

部活動の練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動におけるスキルの成長をどれくらい感じていますか？

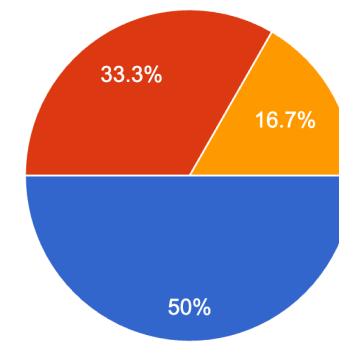


- 非常に負担を感じる
- かなり負担を感じる
- 少し負担を感じる
- 全く負担を感じない



- 強く成長を感じる
- 成長を感じる
- あまり成長を感じない
- 成長を感じない

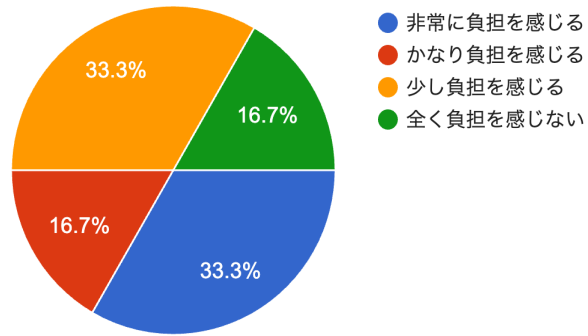
現在の部活動でのチームワークや連帯感はどれくらいですか？



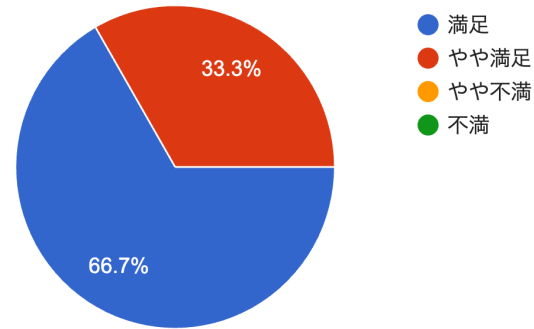
- 強い
- やや強い
- やや弱い
- 弱い

# アンケート結果(12月9日バスケット部 15名/17名)

## 移動の負担はどれくらいですか？



## 外部指導者の指導についてどの程度満足していますか？



## 外部指導者の指導に関する改善点を教えてください。

- ・特になし

## 合同での部活動実施に関する改善点を教えてください。

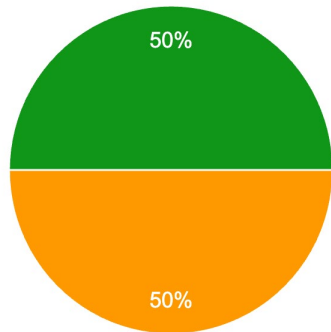
- ・特になし

## 今後の部活動実施/外部指導者の指導について心配なことはありますか？

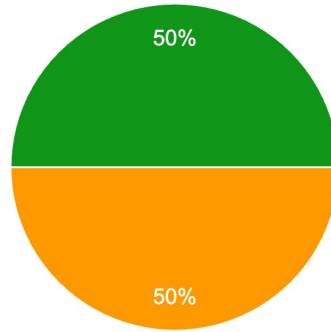
- ・自分に合うかどうか
- ・福島以外でも練習したい

# アンケート結果(12月9日バスケット部顧問 2名/3名)

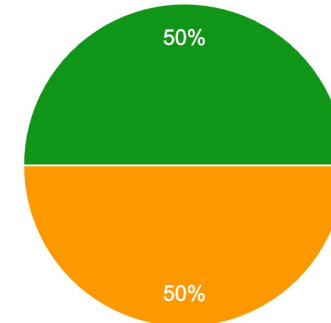
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？ 合同での部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？ 部活動の練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？



- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

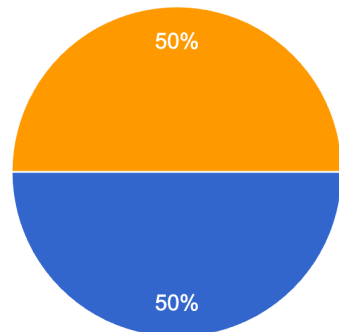


- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満



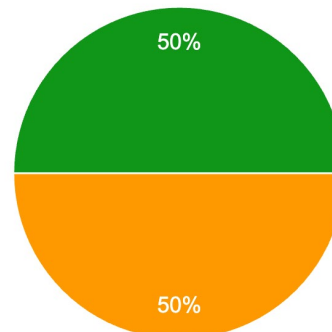
- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満

移動の負担はどれくらいですか？



- 非常に負担を感じる
- かなり負担を感じる
- 少し負担を感じる
- 全く負担を感じない

部活動の実施において、顧問としての負担はどれくらい変わりましたか？



- 負担が軽減された
- やや負担が軽減された
- 変化なし
- 負担が増加した

負担が軽減・増大した場面を教えてください。

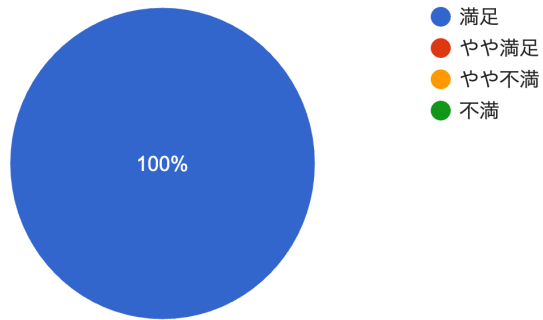
- ・外部との連絡調整
- ・連絡のやりとり

その他、部活動運営に関する改善点を教えてください。

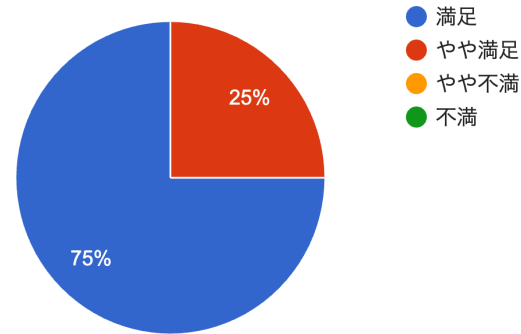
- ・今後の見通し、その他調整など不足している部分が多い。
- ・もう少し運営側ですり合わせを行ってから現場におろして欲しい。

# アンケート結果(1月11日オンライン練習 野球部生徒 4名/5名)

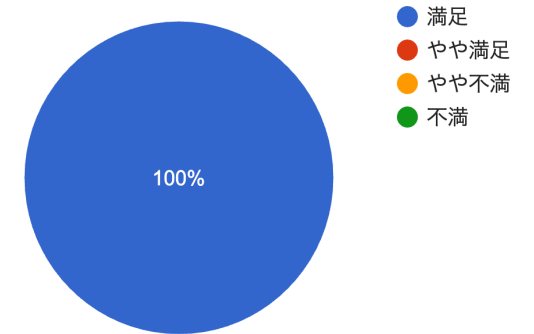
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？



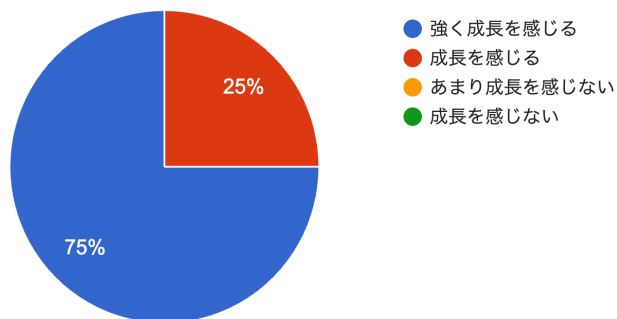
オンラインで部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？



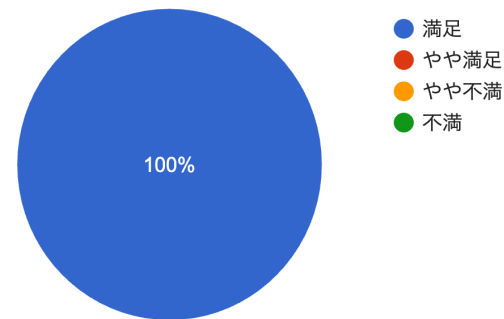
オンラインの練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？



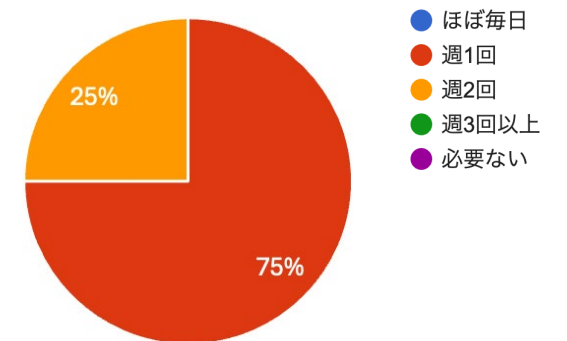
オンラインで行うスキルの成長を感じますか？



外部指導者の指導に対する満足度はどれくらいですか？



オンラインでの練習はどれくらい必要ですか？

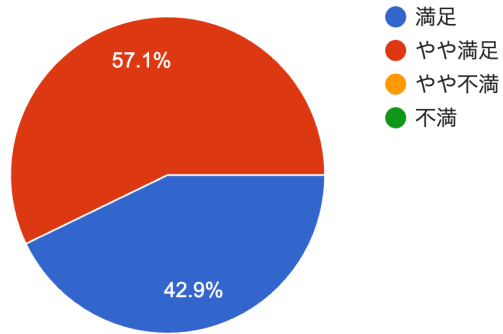


外部指導者の指導に関する良かった点、改善点など教えてください。(自由記述)

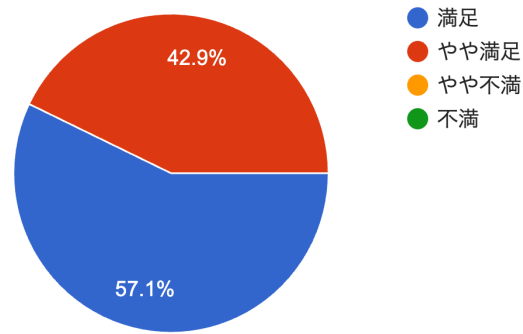
- ・話が聞きやすかった ・とっても分かりやすくて良かった。
- ・丁寧に教えてくれてわかりやすかった ・自分の改善点を教えてくれてありがたいと思った

# アンケート結果(2月2日松前福島バスケット部 合同オンライン練習回答7名/7名)

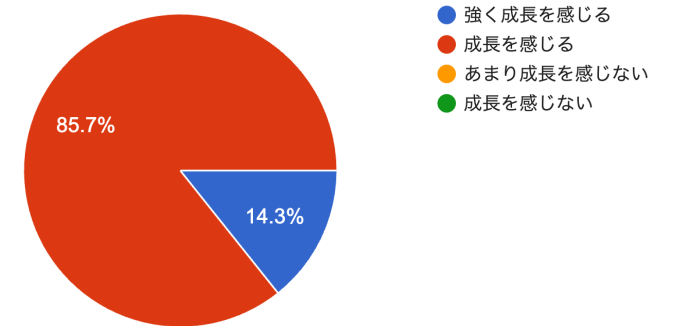
オンラインで部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？



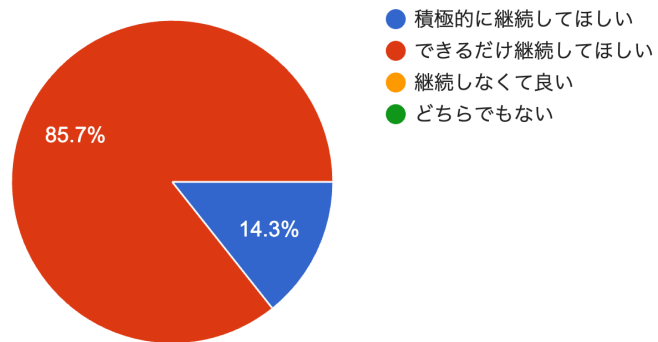
オンラインの練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？



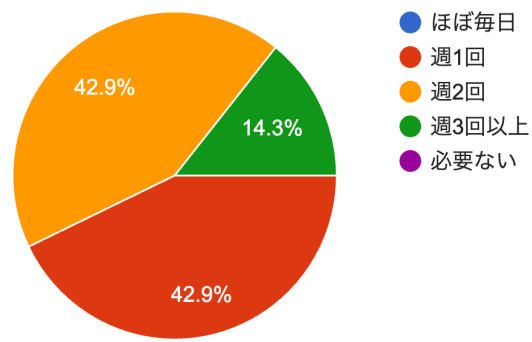
オンラインで行うスキルの成長を感じますか？



オンラインでの練習を継続したいですか？

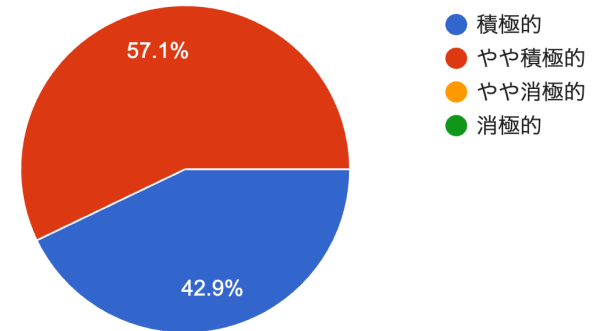
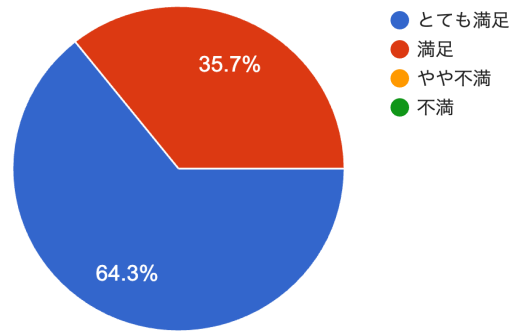
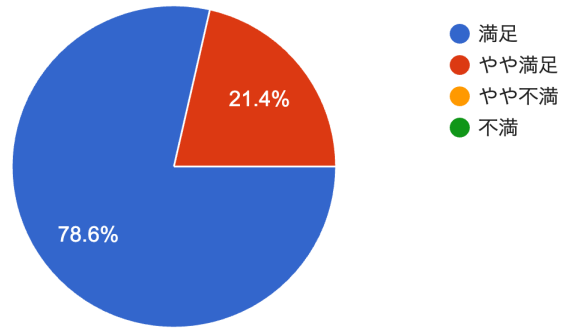


オンラインでの練習はどれくらい必要ですか？

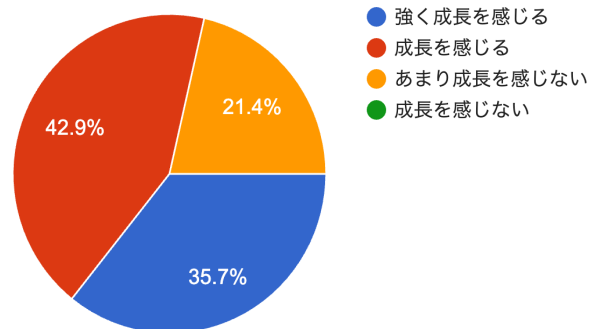
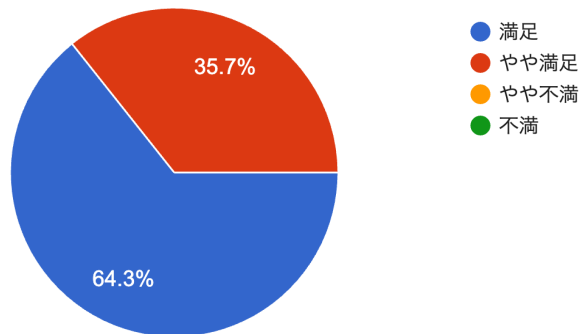


# 最終アンケート結果(2月3日 バスケ部 回答7名/7名)

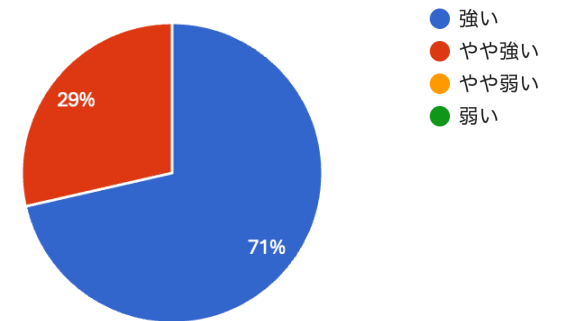
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？ 合同での部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動において、どれくらい意欲的に取り組んでいますか？



部活動の練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動におけるスキルの成長をどれくらい感じていますか？



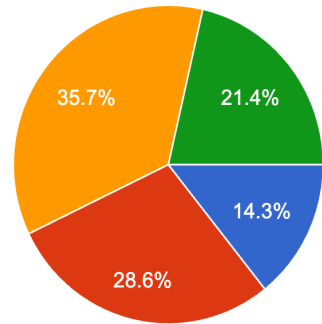
現在の部活動でのチームワークや連帯感はどれくらいですか？





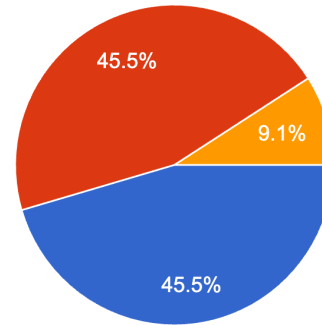
# 最終アンケート結果(2月3日 バスケ部 回答7名/7名)

## 移動の負担はどれくらいですか？



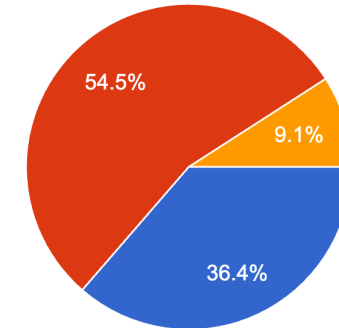
非常に負担を感じる  
かなり負担を感じる  
少し負担を感じる  
全く負担を感じない

## 外部指導者の指導についてどの程度満足していますか？



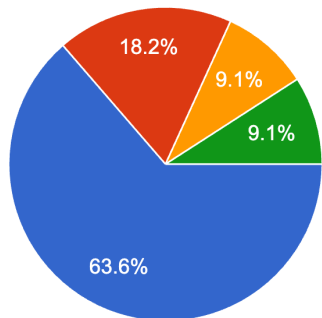
● 満足  
● やや満足  
● やや不満  
● 不満

## 外部指導者の指導スタイルは部活動にどの程度、適していると思いますか？



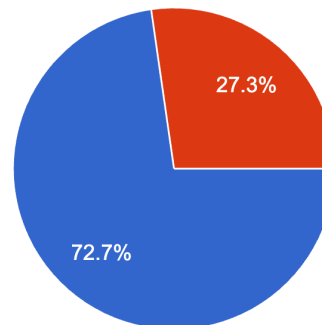
● とても適している  
● 適している  
● あまり適していない  
● 全く適していない

## 外部指導者のコミュニケーション能力をどのように評価しますか？



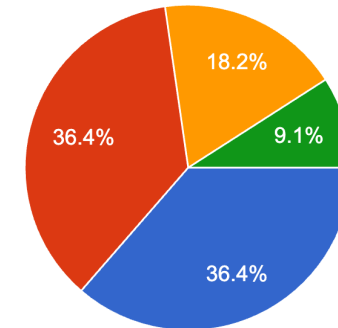
● 非常に良い  
● 良い  
● 普通  
● 不十分

## 外部指導者の技術や知識レベルはどう思いますか？



● 非常に高い  
● 高い  
● 普通  
● 低い

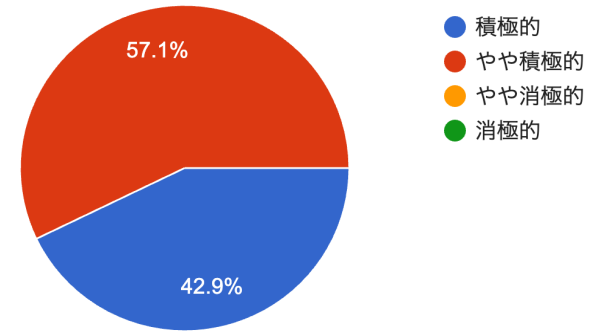
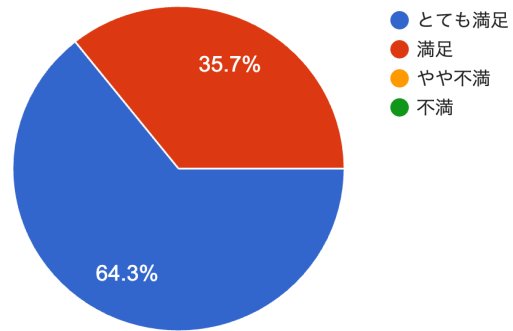
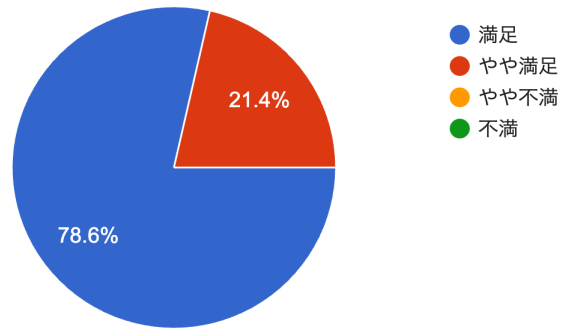
## 外部指導者の存在があなたの部活動へのモチベーションにどのような影響を与えましたか？



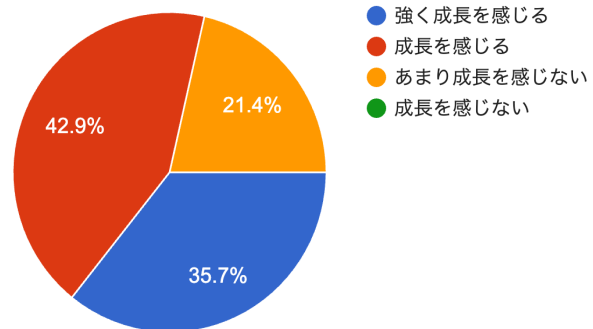
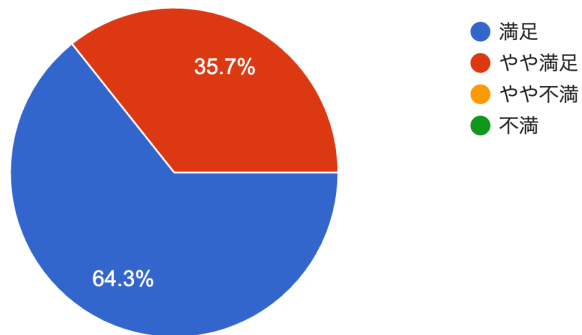
● 非常にポジティブな影響  
● ポジティブな影響  
● あまり影響がない  
● ネガティブな影響

# 最終アンケート結果(2月3日 野球部 回答11名/18名)

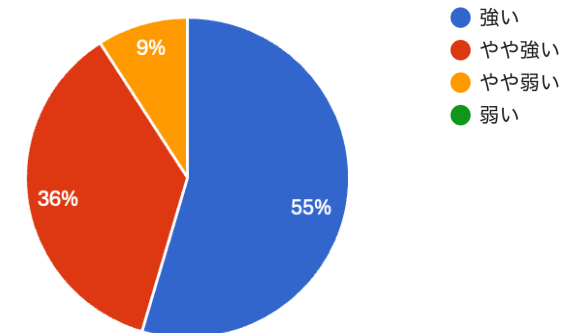
今回の部活動に対する全体の満足度はどの程度ですか？ 合同での部活動実施に対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動において、どれくらい意欲的に取り組んでいますか？



部活動の練習メニューに対する満足度はどれくらいですか？ 現在の部活動におけるスキルの成長をどれくらい感じていますか？

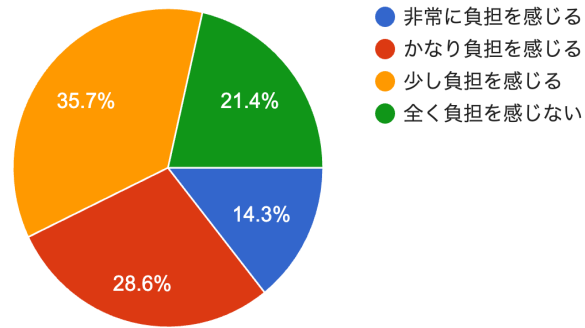


現在の部活動でのチームワークや連帯感はどれくらいですか？

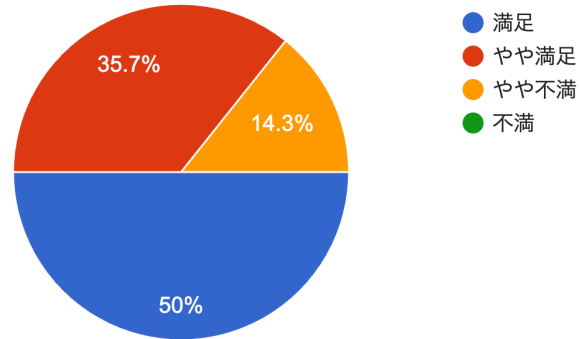


# 最終アンケート結果(2月3日 野球部 回答11名/18名)

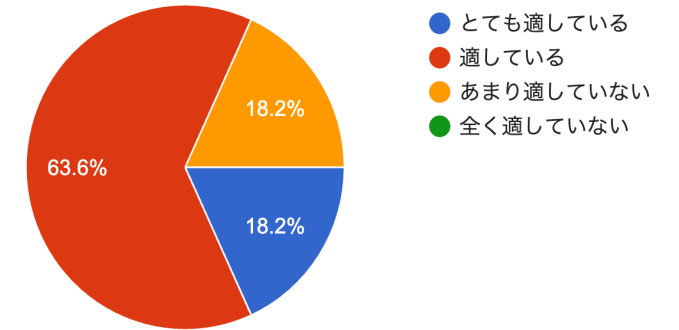
移動の負担はどれくらいですか？



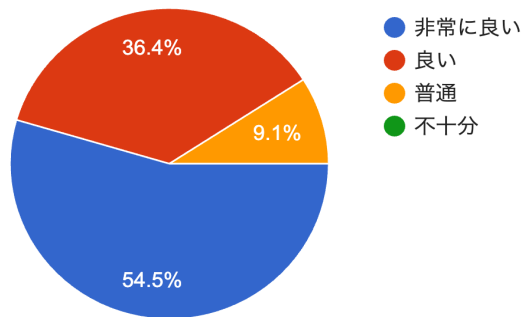
外部指導者の指導についてどの程度満足していますか？



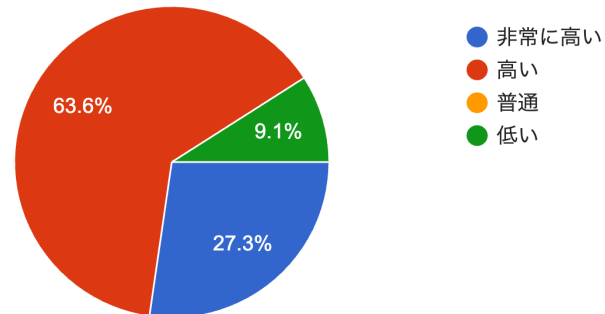
外部指導者の指導スタイルは部活動にどの程度、適していると思いますか？



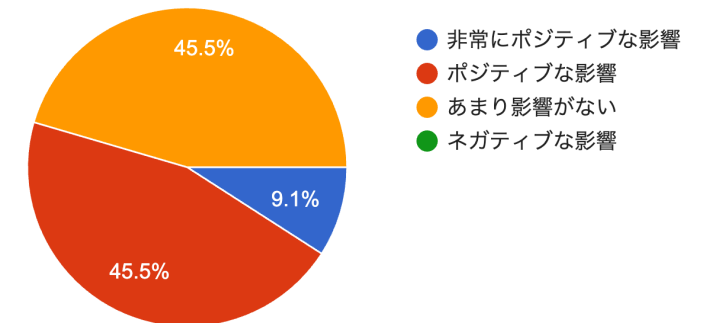
外部指導者のコミュニケーション能力をどのように評価しますか？



外部指導者の技術や知識レベルはどう思いますか？

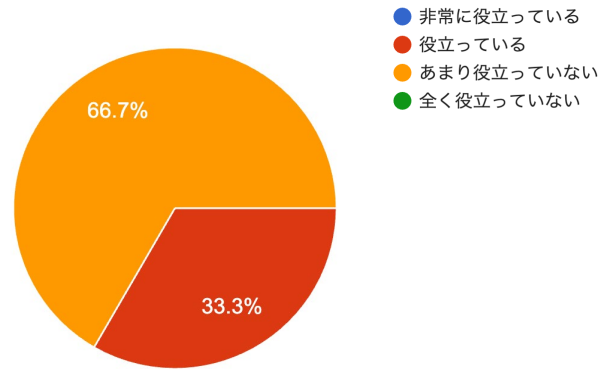


外部指導者の存在があなたの部活動へのモチベーションにどのような影響を与えましたか？

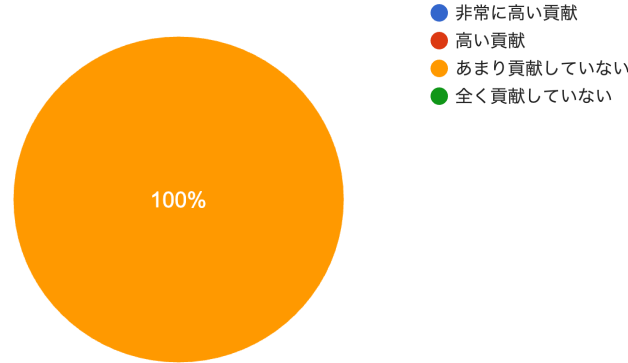


# 最終アンケート結果(2月10日 バスケ部顧問 回答3名/3名)

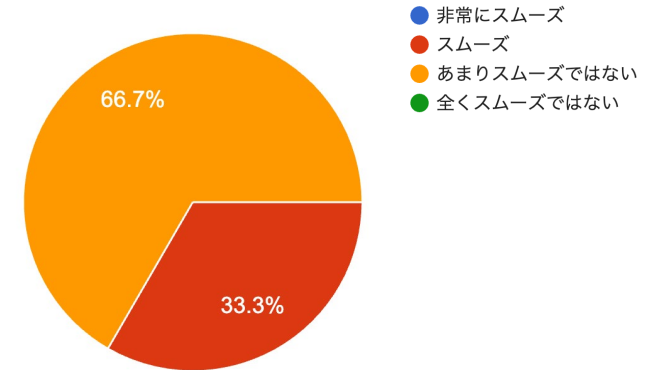
外部指導者（大学生）との協力は部活動の運営にどの程度役立っていますか？



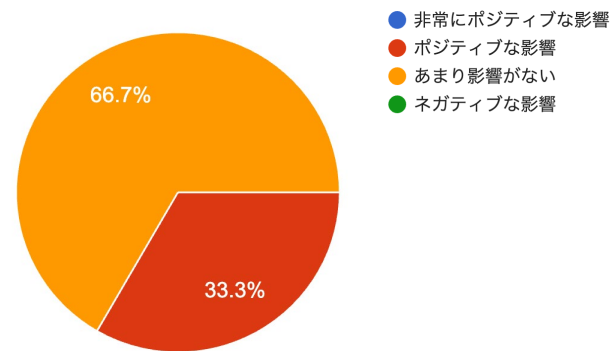
外部指導者（大学生）の貢献をどのように評価しますか？



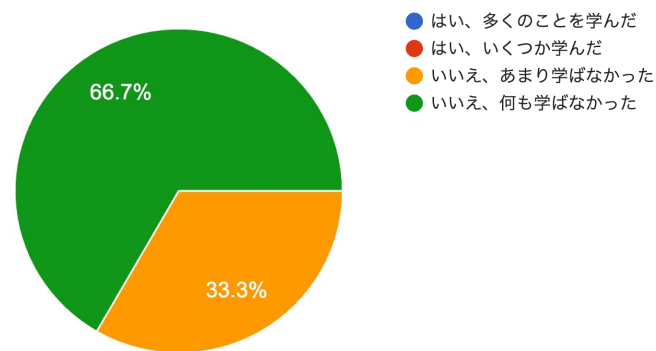
外部指導者（大学生）とのコミュニケーションはスムーズですか？



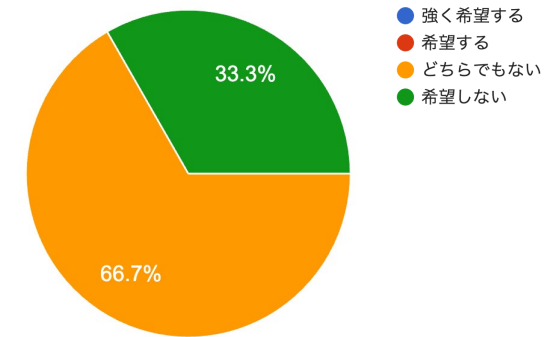
外部指導者(大学生)は生徒たちのモチベーションにどのような影響を与えましたか？



外部指導者（大学生）による指導で新しいスキルや知識を得られましたか？



今後も外部指導者（大学生）による指導を希望しますか？



## 最終アンケート結果(2月10日 バスケ部顧問 回答3名/3名)

### 外部指導者（大学生）について気になる点や改善してほしい点があればご記入ください。（記述式）

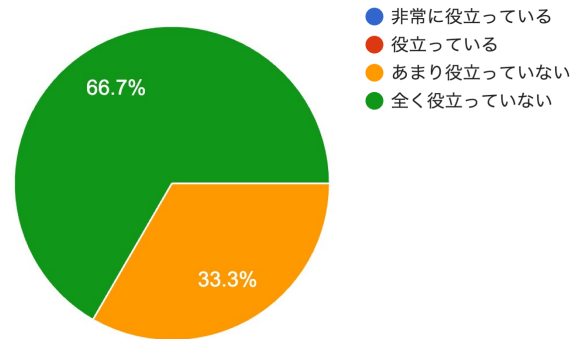
- ・チームの方針に合ったメニューを組めるようになると自分達にプラスになります。ただ、やるのではなくどうなりたいかを考えて練習スキルをあげてほしいです。期待しています。
- ・大学生が平日オンラインでおこなってくれたときがあったが、オンラインではなく現地に来てほしい。
- ・顧問がバスケ専門でないような場合にはとても有効だと思います。

### 今後の部活動の方針や計画についてどのような考えを持っていますか？（記述式）

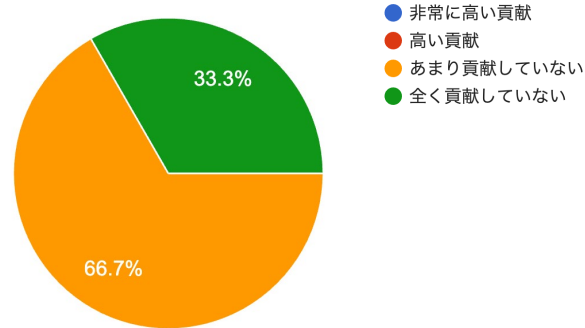
- ・バスの送迎を充実させていただきたい。
- ・部員がいる限り福島、知内と合同で頑張る
- ・合同で行っている場合においては土日は指導者がいる状態で部活ができます。平日においてはバスケなら松前のような学校には、リモートでの練習指導などは有効かなと思います。

# 最終アンケート結果(2月10日 野球部顧問 回答3名/3名)

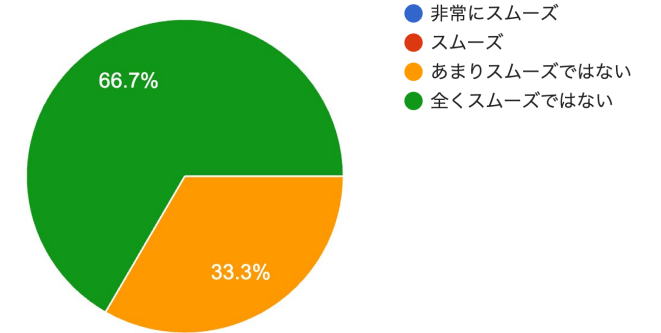
外部指導者との協力は部活動の運営にどの程度役立っていますか？



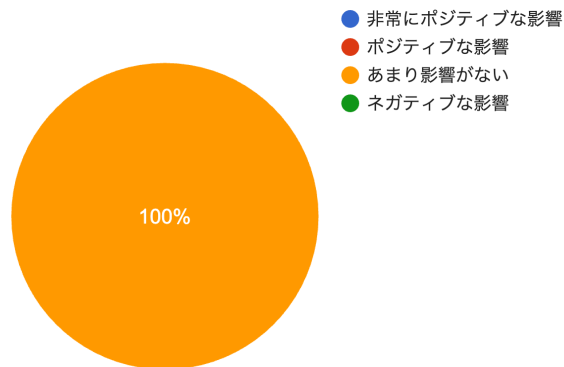
外部指導者の貢献をどのように評価しますか？



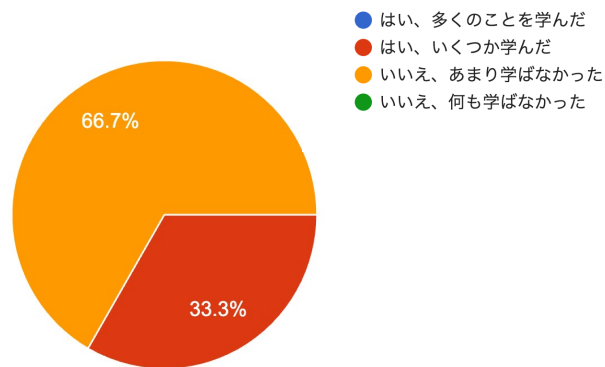
外部指導者とのコミュニケーションはスムーズですか？



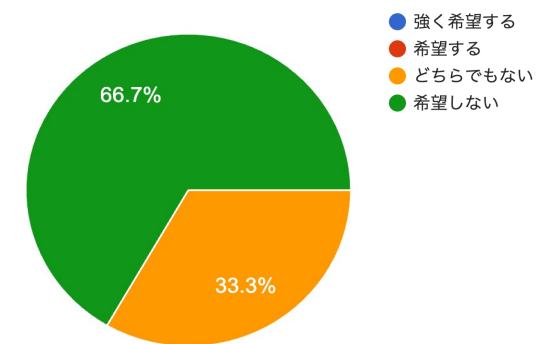
外部指導者は生徒たちのモチベーションにどのような影響を与えましたか？



外部指導者による指導で新しいスキルや知識を得られましたか？



今後も外部指導者による指導を希望しますか？



## 最終アンケート結果(2月10日 野球部顧問 回答3名/3名)

### 外部指導者の指導方法について気になる点や改善してほしい点があればご記入ください。(記述式)

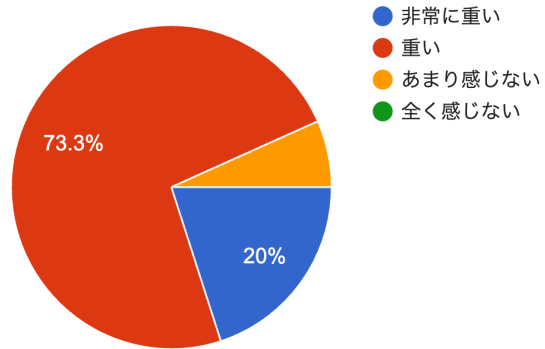
- ・外部指導者の川瀬さんは指導内容、お人柄ともに素敵なお方だと感じました。外部指導者と現場をつなぐ運営には疑問を感じました。現場の願いを実現する外部指導者が効果的に活用出来なかったことが何よりも残念でした。
- ・一般的な指導だけでなく、生徒にも顧問にも新しい発見がほしい
- ・普段やるような練習ではなく、新しい知識や練習を指導していただけると嬉しかったです。

### 今後の部活動の方針や計画についてどのような考えを持っていますか？(記述式)

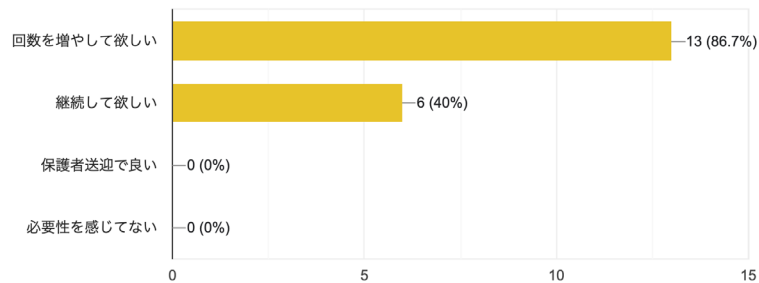
- ・部活動に対して、地域の大人が本気になりスポーツ教育を進めるべきだと感じています。今回のように外部指導者を関わらせる場合は現場の声に耳を傾けて、活用すべきと感じます。
- ・バスなどの移動に関しては保護者としては非常に助かったと思います。
- ・外部指導者が指導に入る場面は休日等の指導できる人がいる合同練習ではなく、平日等の指導者がいなくて、練習ができないようなタイミングで入っていただけるような形になれば良いなと思いました。

# 最終アンケート結果(2月15日 保護者 回答15名)

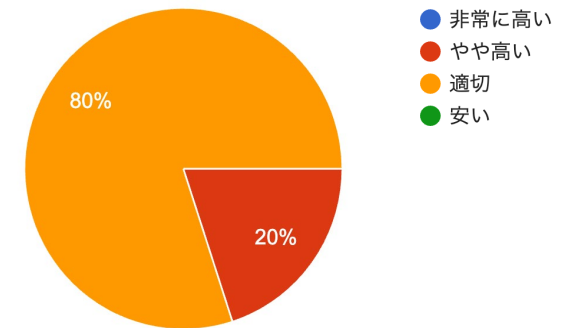
お子様の部活動への送迎に関する負担をどの程度感じていますか？



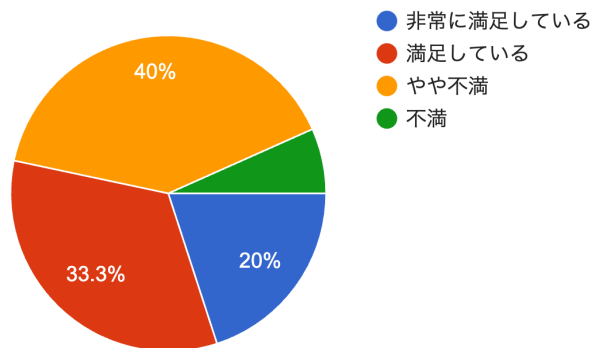
町バスの活用はいかがでしたか？  
複数回答（該当校のみ）



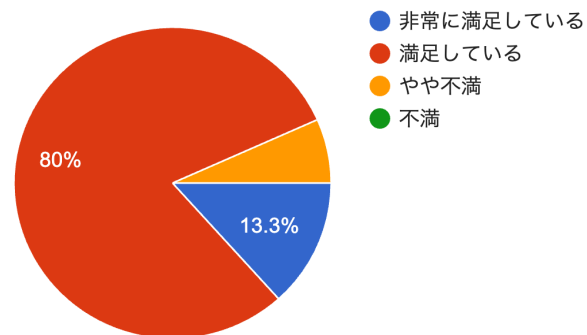
部活動にかかる費用についてどのように感じていますか？



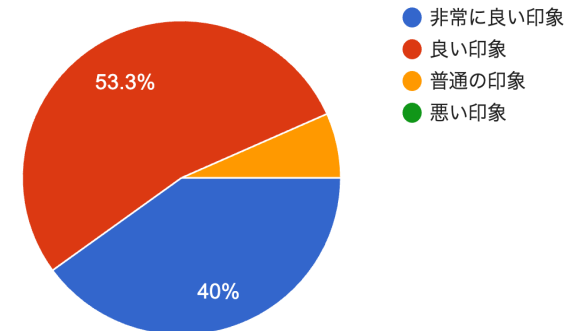
部活動に関する学校からの情報提供の頻度や連絡手段についてどう思いますか？



部活動のスケジュールに関してどの程度満足していますか？



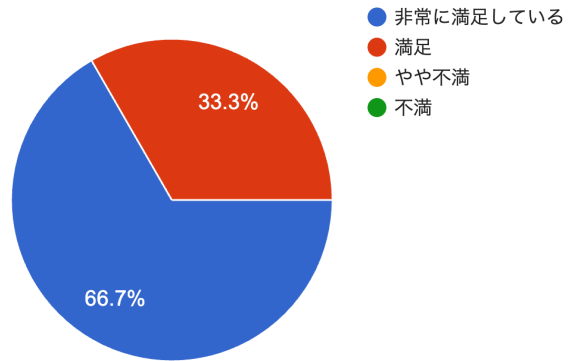
今回の実証事業で行った外部指導者の指導についてどのような印象を持っていますか？



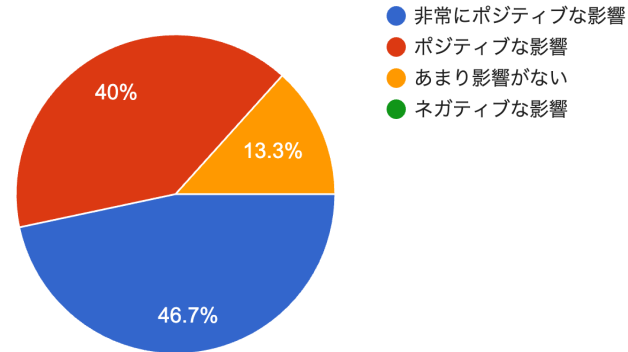


# 最終アンケート結果(2月15日 保護者 回答15名)

お子様の部活動への送迎に関する負担をどの程度感じていますか？



お子様の部活動への参加が家庭生活にどのような影響を与えていると思いますか？



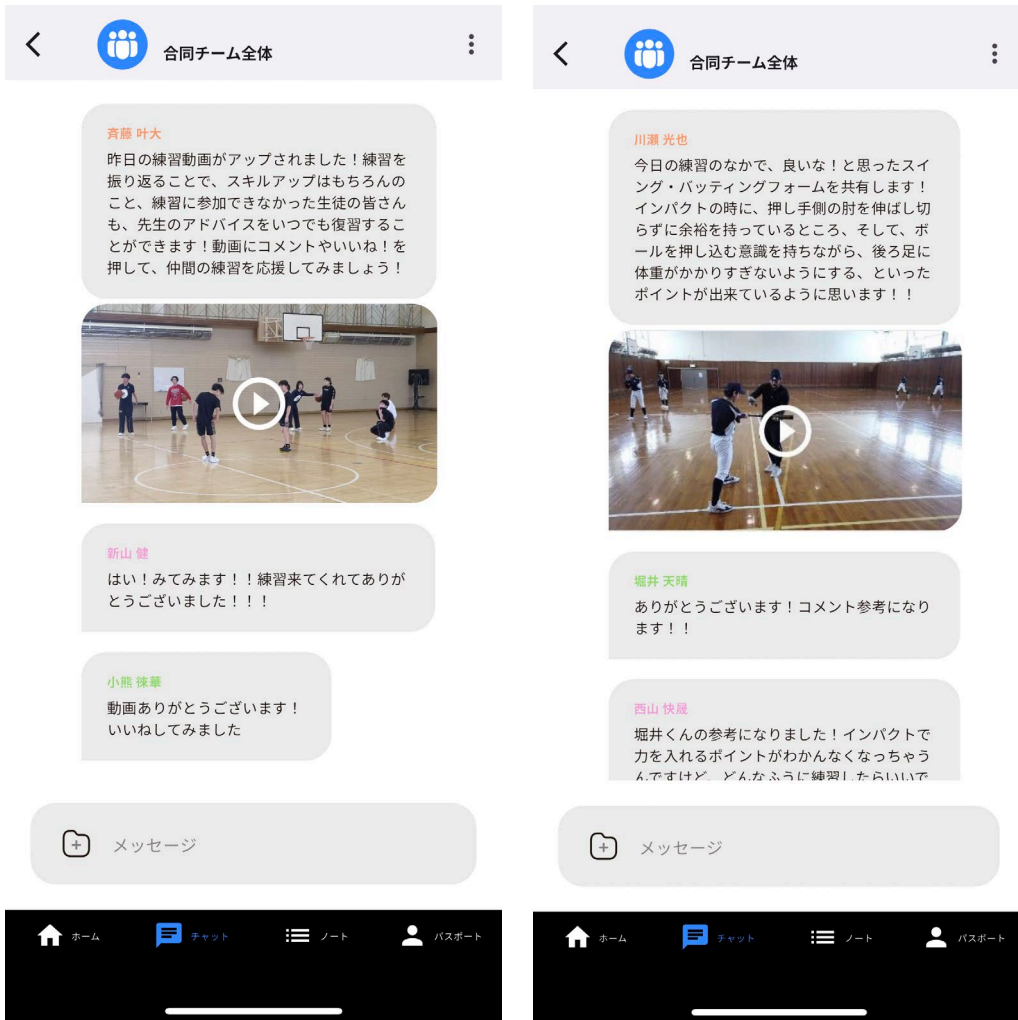
## 最終アンケート結果(2月15日 保護者 回答15名)

### 今回の部活動実証事業に関するご意見やご感想を記入ください（記述式）

- ・少ない部員の中、また土日働いている親が多い中協力しあいどうにかこの一年送迎してこれました。町のバスの提供にも感謝します。これからもよろしく願います！
- ・ブカル事業、感謝しています。今後もやって欲しいです。大会もバス出して欲しいです。
- ・毎年なんですが、中体連などで他校との合同チームで、松前、福島は宿泊ありで知内だけ宿泊がない状態で、子供にも親にも負担は大きいと思います。それだけではなく、せつかくの3校合同ですので、部活外ではありますが宿泊期間内の交友関係、試合などの反省や話あえる場でもありますし、仲間の絆を深めるきっかけにもなると私は思います。なので知内も是非、少ないチームだからこそできることもたくさるあると思いますので、検討して頂きたいのと、町の予算や、保護者への負担など話合える場も設けると、みなさんの意見も出しやすいのかなと思いました。よろしく願いいたします。
- ・今回の取り組み親も子供も大変満足しています。ブカルさんこれからも宜しくお願いします。
- ・これからもこの様な形で保護者からのアンケートを取る事は良い事だと思います。
- ・特に、夏冬休みの平日練習での送迎は、仕事の都合上送迎が難しいため町バスがあると親としても安心して子供を部活動参加させる事が出来ます。
- ・送迎はすごく助かります！これからもお願いしたいです。
- ・引き続き送迎をよろしくお願いしたいです。
- ・送迎バスがある事にとっても助かりました。多少の自己負担があっても送迎バスがこれからも継続してくれることを願っています
- ・外部からの指導者が来て、指導して下さったことが、子供にとってすごくいい刺激になったようです。可能であればぜひ続けてほしいです。

# (参考)アプリ活用実績

## チャットでのコミュニケーション



## 生徒用パスポート/ポイントシステム

